

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

びより

2009

vol.112

12.1

広報たいせん

だいせん日和



響く

(大曲小学校和太鼓部)

今号の特集

大仙市の
子どもたちは伸び盛り

フォトスケッチ

錦秋の池田氏庭園



熟成古酒「山吹 1995」 金紋秋田酒造 (大曲地域)



時間が作り出した、まばゆい輝きととろける香り放つ「山吹1995」はいろいろな飲み方、食材との組み合わせで楽しめる」と佐々木社長。



世界一の日本酒が大仙から誕生 — 金紋秋田酒造 まばゆい輝き芳醇な香り 「山吹1995」

いにしえからの日本酒

古来からある熟成古酒。江戸時代までは酒の最高級品として飲まれていた。鎌倉時代の日蓮上人が書いた古文書にも「赤酒」として記述がある。室町時代からは新酒より好まれ高い価値で流通。さらに江戸時代には大奥で將軍が飲んでいたという。しかし、明治以降しばらくは酒が出来上がった時点で税を納めなければいけなくなつたため、すぐに販売するのが主流に。熟成古酒の文化が廃れてしまつたようだ。古酒の定義は品評会の審査対象になつていないのであいまいだが、税務署の基準では、醸造年度が変わつたら古酒と定義されている。

「日本酒は時間が経過すれば腐る」と思われがちだが、しっかりと作られた日本酒は雑菌が少なく、貯蔵することで熟成が始まる。アルコールなので腐ることはなく、4〜5年で熟成が進み、香りや味わいなど、深みを増したまったりとした味に化ける。

さまざまスタイルで楽しめる

「山吹1995」は、佐々木さんが社長を務めている秋田富士酒造店で1988年、93年、95年に醸造した日本酒を熟成させてブレンドしている。

グラスに注がれた、琥珀色の滴。大仙の夕焼けのような色合い。酒の神バツカスからの贈り物は、少し甘みがあり、深い味わいがある。シェリー酒に似ていると言う人が多い。飲み方もいろいろ。ストレート、お湯割り、ロック、燗などオールラウンドで楽しめる。

ワインより味が柔らかく幅広い料理に合わせやすい、料理に塩分と油のどちら

かが含まれていればよく合う。和食はもちろん洋食や県産品の地鶏、ハタハタのすしやしょつぷる、いぶりがっこ、納豆などの発酵食品に合う。

11月13日に行われた最高賞受賞祝賀会では、炭酸やお湯で割つたもの、クラッシュアイスでロックや燗ロック、熟成酒で作つた梅酒などバリエーション豊かに試飲。料理もいぶりがっこ、エビの塩味炒め、フランスパン、西明寺栗と若鶏特製ソース掛け、チーズなど自由に組み合わせながら、さまざまなスタイルで熟成古酒の新しい世界を楽しんだ。

日本酒の幅を広げ、秋田を発信

20数年古酒にこだわり、研究し努力を積み重ね、日本酒の古くも新しい世界を広げた社長の佐々木さん。古酒を広く知ってもらうための試飲会や価格を抑えた製品販売を予定している。

受賞後、国内はもとより海外のレストランからも問い合わせが舞い込む。さまざまな場で飲んでもらえるよう挑戦し、日本酒の見方を変える驚きを提供していきたいという。

「日本酒の幅を広げ、秋田の食材に合う特性を生かし、『山吹』と一緒に県産食材もアピールしたい。受賞は誉れ高きことですが、新たな出発点。秋田を発信する一助になればと思います」と風土や気候を生かした、秋田の発酵や熟成文化を発信する次なるステージに立つ。

Profile きんもんあきたしゅぞう

1973年設立。古酒に新しい可能性を追求してきた同社の「山吹1995」がインターナショナルワインチャレンジ(IWC)にて、日本酒部門の最優秀賞「チャンピオン・サケ」に選ばれた。
ホームページ / <http://kinmon-kosyu.com/>

だいせん日和

12月1日 第112号

注目株/金紋秋田酒造 2

特集 4-27

大仙市の子どもたちは伸び盛り

環境への取り組み成果報告 28-29

保育所・幼稚園の申し込み案内 30-31

市役所からのお知らせ 32-33

- ◎ まるご電話相談
- ◎ 障がい福祉相談会
- ◎ 学校給食物資納入業者の公募
- ◎ 市税等口座振替新規加入キャンペーン
- ◎ 市営住宅入居者募集 ほか

フォトスケッチ 錦秋の池田氏庭園 34-35

広報見聞録 36

- ◎ 修英高校が市に図書を寄贈
- ◎ マーチングバンド・パトントワーリング東北大会
- ◎ 東北将棋大会大仙市長杯
- ◎ 大曲中と大曲南中が環境学習講座

市内の叙勲受章者を紹介 37

お便り広場 38-39

健康の達人・健康通信 40-41

市長日程・図書館情報 42

いきいき広場・介護保険事務所から 43

地域情報・情報交差点 44-46

ヘルスメイトのレシピ・大仙の逸品 47

今号の表紙

音とおどりのフェスタ2009 in 大曲



10月24日・25日、「音とおどりのフェスタ2009 in 大曲」が秋の稔りフェアと同時に開催されました。音部門と踊り部門に分かれ2日間の日程で行われた同イベントには、学校の吹奏楽部や市内で活動している音楽団体(17団体)や、市内の芸能団体(17団体)などが参加し、日ごろの練習の成果を発表。訪れた方々は、芸術の秋のひとつときを楽しみました。

大仙市の行事予定

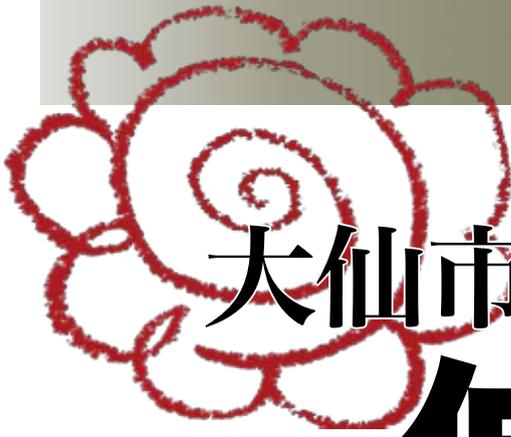
12月1日 火 ~ 12月20日 日

- 12 / 1 火 大曲地域の乗合タクシー運行スタート(～平成22年3月31日)
- 2 水 ふれあい体育館一般公開(～3日)
■午前10時～■ふれあい体育館▶P2
仙北地域市長面会日■午前10時～■仙北庁舎
- 3 木
- 4 金
- 5 土 ペアール大仙フェア■午前10時～■大曲交流センター▶P46
中仙市民会館優秀映画鑑賞会(～6日)
■午後1時30分～■中仙市民会館(500円・700円)▶P14
大仙美郷クリーンセンター休日開場日■午前8時30分～・午後1時～
■【家庭ごみ】65円/10kg【事業ごみ】90円/10kg
呈茶会(玉川遠州流・今野晋清社中)
■午前10時～■産業展示館(300円)
6 日 ペアール大仙フェア■午前10時～■大曲市民会館▶P46
☎仙北組合総合病院・整形(大曲) ☎0187-63-2111
☎藤田歯科医院(大曲) ☎0187-63-3320
☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
- 7 月 市内幼稚園の申し込み受け付け開始(～14日)▶P31
あきたふるさと手作りCM大賞2009放送日■午後6時40分～▶P45
- 8 火
- 9 水 市内へき地保育所の申し込み受け付け開始(～18日)▶P30
- 10 木
- 11 金 協和行政相談■午前9時～■協和公民館淀川分館
協和行政相談■午後1時～■協和市民センター(和ピア)
- 12 土 大仙市商品券販売開始■午前9時～■各販売所▶P45
障がい福祉相談会■午後10時～■大曲交流センター▶P32
☎大曲中通病院(大曲) ☎0187-63-2131
☎高山歯科医院(美郷町) ☎0187-85-3911
☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111
- 13 日
- 14 月
- 15 火
- 16 水 市内保育所の申し込み受け付け開始(～20日)▶P30
- 17 木
- 18 金
- 19 土
- 20 日 ☎仙北組合総合病院・外科(大曲) ☎0187-63-2111
☎小西歯科医院(美郷町) ☎0187-84-1118
☎仙北組合総合病院(大曲) ☎0187-63-2111

☎… 休日外科当番医 午前10時～午後4時
☎… 休日歯科当番医 午前9時～午後1時
☎… 小児救急診療 午前9時～午後3時

休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始
☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時

この子も



大仙市の子どもたちは
伸び盛り

この子も



この子も

大仙市の子どもたちには、 無限の可能性が広がります。

3年連続学力テスト全国トップクラスの秋田県。

その中でも大仙市は、県の数字をも上回る好成績を収めています。

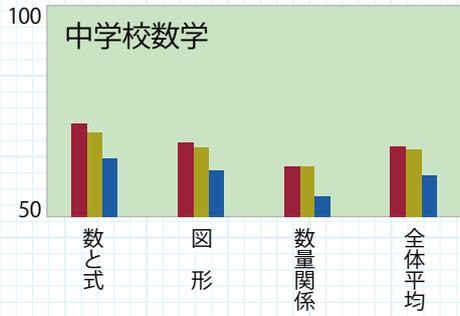
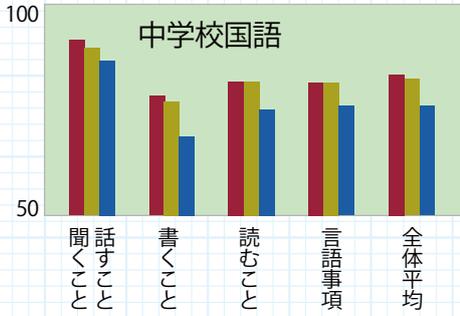
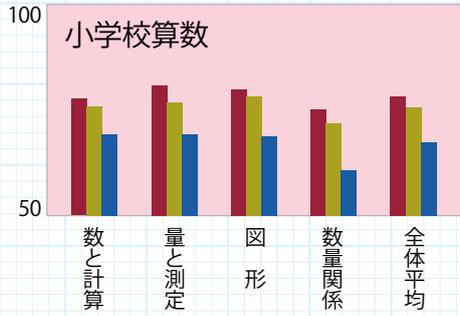
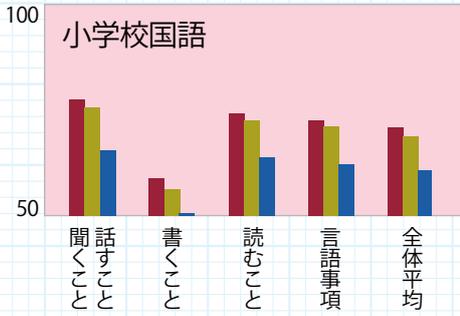
大仙市の子どもたちの資質、創意工夫を生かした教育活動、そして地域と子どものかかわり合いなど、多くのことが複雑にからみ合い、融合した結果の現れに違いありません。

全国から注目される**大仙市の教育**の現場をレポートします。



そして、この子も

全国学力テストから読み取れる 大仙市の教育
「伸びています」大仙の子どもたち



学力テストで3年連続全国トップ級の成績を収める秋田県。

その中でも大仙市の成績は県平均を上回る。

文部科学省が実施する「全国学力テスト」。

大仙市の成績を全国や県の平均と比較分析し、その実力を見てみよう。

全国一斉に「学力テスト」
教科に関する調査と質問紙調査

「全国学力テスト」正式には「全国学力・学習状況調査」。

児童生徒の学力維持向上および学習状況の把握のために、文部科学省が全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施。

今年度は4月21日に全国一斉で行われた。小学校で2万1643校全体の99.3%、中学校で1万258校(同93.3%)が参加。大仙では全ての小・中学校が参加している。

内容は学力調査(教科に関する調査)と学習状況調査(生活習慣や学習環境に関する質問紙調査)に分かれている。

教科に関する調査は国語と算数(小)、数学(中)の2教科。それぞれ、「知識」など基礎学力を問うA問題と思考力など「活用する力」を問うB問題の2種類。質問紙調査は、児童生徒に対するものと学校に対する調査が行われた。

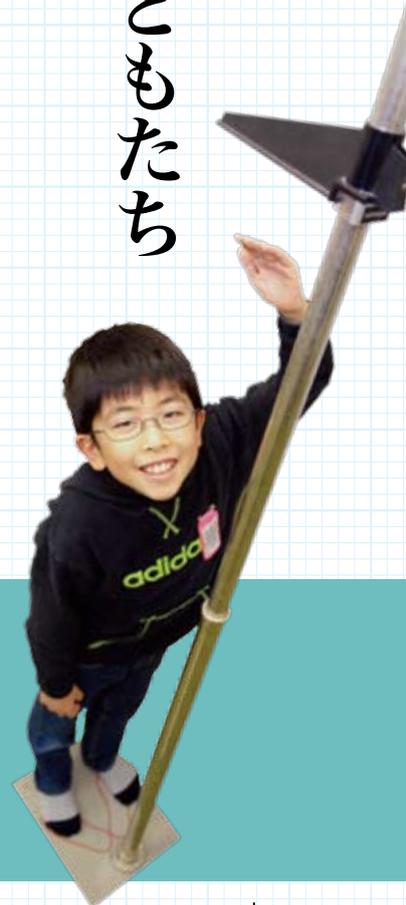
教科に関する調査結果
基礎・基本の習得

秋田県は小・中学校とも各教科で全国平均正答率を5ポイント以上上回り、3年連続で全国トップ級の成績を収めている。

大仙市は、その県の平均正答率を小・中学校全ての教科で上回っていることから、良好な状況を維持していると考えられ、上のグラフ1「領域別正答率」がその状況を表している。また、「活用」に関する問題も全国や県平均正答率を上回っていることから、知識・技能等を活用する力や課題を解決する力をはぐくむ授業改善が進んでいることがうかがえるとしている。

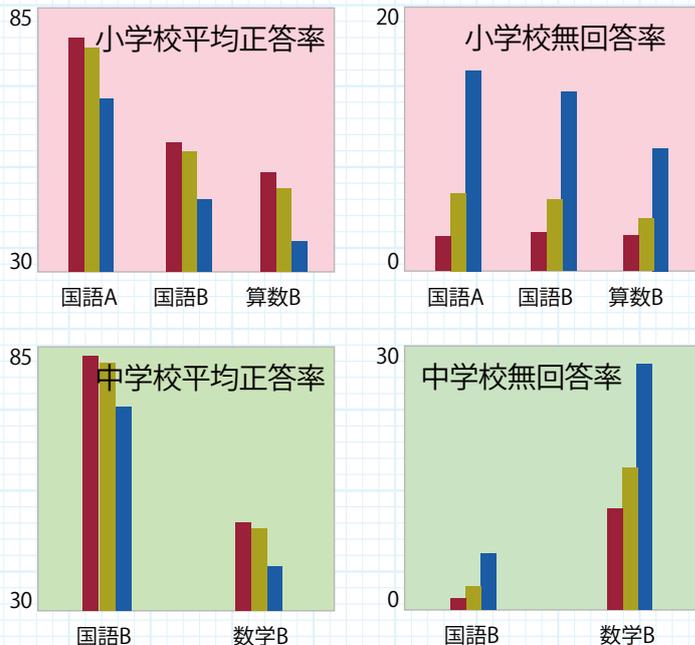
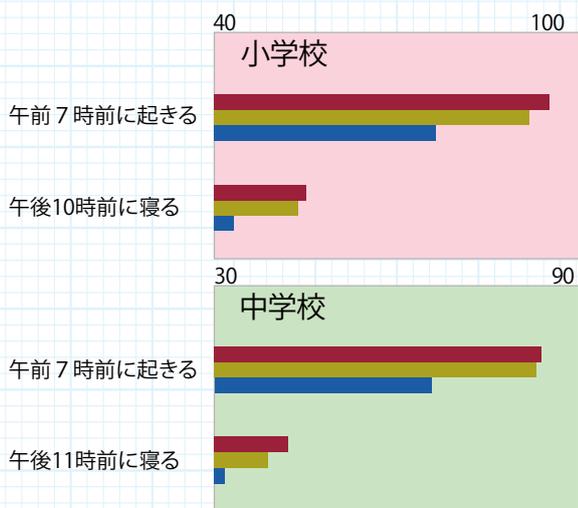
また、グラフ2「記述式問題 平均正答率・無解答率比較」の、「無解答率の低さ」「記述式問題での高い正答率」などからは、学力の支えとなる基本的な学習習慣の定着、最後まで粘り強く問題を解こうと取り組んでいる姿勢がうかがえる。

大仙市教育委員会のホームページから (<http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~ky-iinkai/>) 全国学力テストの結果など、見るができます。

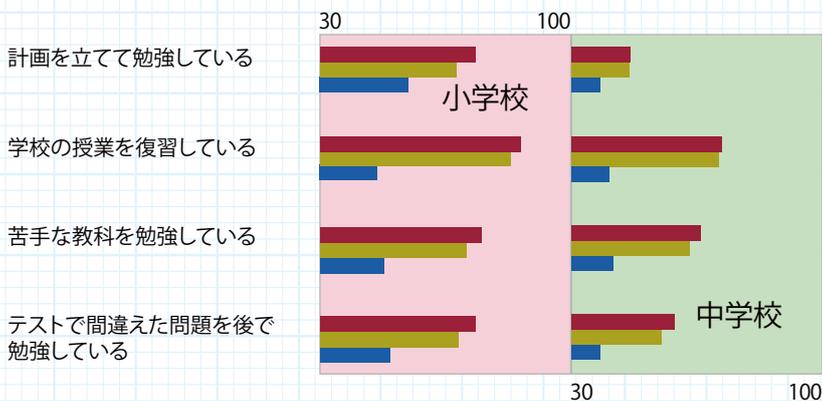


グラフ2 記述式問題平均正答率・無解答率比較

グラフ3 起床・就寝時刻【学習環境に関する調査結果】



グラフ4 家庭学習の様子

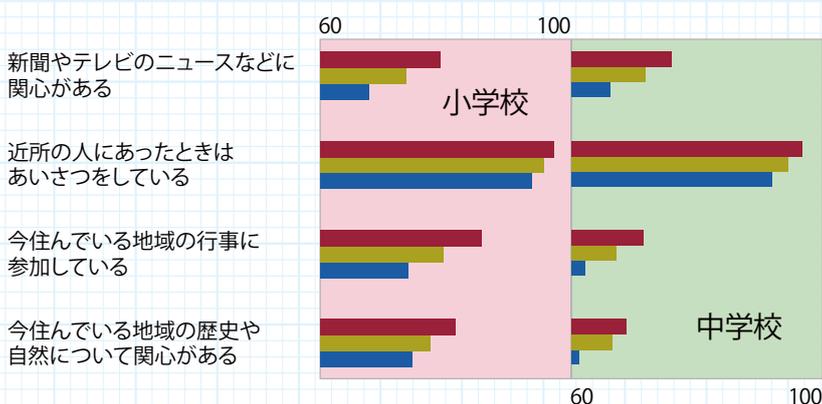


学習環境に関する調査結果
生活・学習習慣と地域の教育力

グラフ3「起床・就寝時刻」からは、早寝、早起きといった規則正しい生活習慣が見て取れる。また、グラフには示していないが、家族と朝食を一緒に食べたり、学校の話が家庭内ですると答える子どもの学力が高い傾向にある。温かい家庭環境のもと、基本的な生活習慣が身に付いている子どもが多いと言える。

グラフ4「家庭学習の様子」からは、計画を立てて苦手な教科の学習や宿題、復

グラフ5 地域の自然、人や行事などへのかかわり



習などに取り組んでいる子どもが多く、家庭学習を計画的に行う習慣が定着していることがうかがえる。

グラフ5「地域への愛着」では、地域の歴史や自然に関心をもち、進んで行事に参加するなど、地域への強い愛着を持っていること。また、近所の人へあいさつをする子どもも、地域の出来事にも関心をもち子どもが多いことが分かる。

授業や学校行事で地域の協力を得ながら学習を進めていることや、地域の高い教育力に支えられている現れといえる。



大仙市教育委員会
教育研究所長 富樫 武彦

interview
インタビュー

家庭、地域、学校 三者が一体となって支える子どもの学び

好成绩の要因に大きく次の3つがあげられます。

- ①温かい家庭環境のもと、しつけや基本的な生活習慣がきちんと身に付いていること
- ②保護者を含めた地域が学校教育に深くかかわっていること
- ③学校において創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開されていること

次代を担う子どもをピラミッドの頂点に据え、家庭や地域、学校の三者が緊密に連携し、互いに協力しあって子どもの学びを支える体制ができあがっているからだと考えています。

注目されています大仙市の教育

— 秘訣探る視察が続々 —



「先進地に学ぶ」—

この合い言葉はどこ自治体にも通じる。

学力テスト全国トップクラスとお墨付きをいただいた大仙市の教育の秘訣を探り、学ぼうと全国の教育関係者が視察に訪れる。

昨年度26件、今年度は現在まで14件の視察があった。

北は北海道、南は沖縄、全国各地から2年間で延べ278人の方々が大仙市を訪れている。

学習環境が整っている

全国学力テストは平成19年度から毎年行われ、今年で3回目になるが、「教育理念に合わない」と過去2回、全国の自治体で唯一参加していなかった愛知県犬山市。人口約7万5000人、岐阜県に接する県北部に位置し、明治村や犬山城などの名所がある。「学びの学校づくり」を最重要課題と位置付け、少人数指導授業などの導入を通じて「自ら学び、学び合う」を目指している。3回目の今年は一転し参加。犬山市ではおそらく全国平均以上にはなるものと予想していたが、平均よりやや低いという結果だった。

視察に訪れたのは犬山市議会民生文教委員会のメンバー。代表を務める宮地繁誠委員長は、「学力テストの優秀な地域の、その理由を探り参考にしたい」とあいさつした。

大仙市の教育の概要説明や学習状況などが説明された後、質問を受けた。委員からは「学力テストには補習などして臨んだのか」「家庭学習の様子は」「PTA活動について」「家庭、地域、学校との連携について」など、



大分放送の記者とカメラマンが大曲小学校を密着取材。子どもたちの一日を追跡した。全国学力テストに唯一参加していなかった愛知県犬山市の市議会議員も大仙市の教育を学ぼうと視察に訪れた。

先進地に学べとばかりに、制限時間いっぱい質疑応答がなされた。

その後、市内小学校を訪問し現場を視察。宮地委員長からは、「きめ細やかな教育がされていることを感じました。PTA、地域、学校が連携するための組織がしっかりとされている。子どもたちが集中して教育を受けられる環境が整っていると思う」と感想を述べて、大仙市を後にした。

テレビカメラ、学校で密着取材

「九州でトップレベルの学力を目指す」

そんな目標を掲げている大分県。しかし、今年の結果は昨年を下回った。

当市と何が違うのか探ろうと、大分放送が大曲小学校で取材を行った。収録された番組は、夕方ニュースで特集として扱われ、約6分ずつ、4回シリーズで放送された。

2日間におよぶ取材日程。初日は秋田県教育委員会や秋田大学を取材。2日目は朝の会から放課後まで児童に密着。代表児童を自宅まで追跡、保護者も取材を受けた。学校での授業風景、地域との連携、家庭学

習の充実、教職員同士の連携など、大仙市の教育について多角的に学んでいた。

平均以下だった秋田の大変身

競争をおおるなどの理由から学力テストは以前中止された経緯がある。中止される以前の44年前の調査では、ほとんどの教科で下位に低迷した秋田県。その変ぼうに関係者は驚きを隠せない。当初は半信半疑であった人々も、2年そして3年連続とあつては、その秘訣を真剣に探ろうとしている。

しかし、この好成绩は一過性のもではない。「学校の授業や家庭教育、地域教育などにより高い学力が定着している。現在までの積み重ね、蓄積がこのような結果に結びついている」と秋田県は分析している。また、学力テストの結果を「学校間の競争激化」の誘因とさせることなく、上手に次の学習に結びつける手段として活用している。

大仙市の教育力や地域力を地域ブランドとして定着させ、全国へ情報発信することで、地域活性化の突破口になるのではないだろうか。



創意工夫を生かした特色ある 大仙市の教育活動

「学 校」

子どもたちの大きな学びの場である学校

学習に集中し、落ち着いて学ぶことができる環境を構築

基本的な学習習慣を身に付けることができるよう、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開

子どもたちの関心・意欲を高め、力を引き出す授業が進められています

教師の連係プレー

複数の教師による
授業展開
共通理解した上で
きめ細やかな
指導が可能になる

横 堀小学校5年生、担任の武藤浩紀先生が算数の授業を行っている。教室にはもう一人の田口倫先生が子どもたちの様子を見守っている。黒板の前で授業を展開している武藤先生。そして田口先生は机を回りながら、一人一人の理解度をチェック。つまづいている子がいれば、すぐにその

子に合った支援をする。複数の教師で授業を展開する「チームティーチング」。少人数学習に対応できる指導方法。教師の目が増えることで、子どもたちに対してよりきめ細かに、そして丁寧な指導を行うことができる。一つの教室に複数の教師が入ることになれば、クラスを複数に分

けて授業を行う場合もあり、目的に合わせて上手に使い分ける。**今** 回の取材では、武藤先生が主担当となり、田口先生がフォロワーに回るケース。4月から一緒に取り組んでいる2人。まさに「阿吽の呼吸」。絶妙な掛け合いで、子どもたちのやる気を引き出し、理解を深めていく。

「黒板に書いていると子どもたちが見えませんが、田口先生が子どもたちをフォロワーしてくれま

で学ぶという雰囲気をつくり出すよう心がけています」と武藤先生。また田口先生は「複数の教師で指導するわけですから、目的や指導方法などについて共通理解した上で授業に臨まなければなりません。そのための事前打ち合わせが必要になってきます。それでも、理解してくれた子どもたちの笑顔を見るとほっとします」と話す。

教師の連係プレーにより、よりきめ細やかな指導を可能にするチームティーチング。子どもたちが元気に、そして2人の授業を楽しみながら理解を深めていく姿が印象的だった。



- 1 黒板前の主担当が授業を行い、もう一人が机を回りながら支援する。
- 2 授業中、子どもたちの状況を報告。複数の目で最良の指導方法を探る。
- 3 副担当は子どもたちに解け込み、一緒に授業を受けながら一人一人を見守る。
- 4 2人の掛け合いで授業を展開することも。

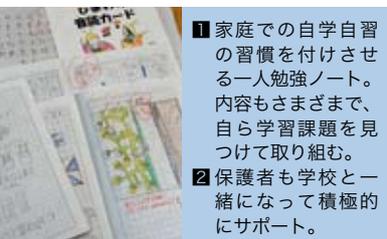


その2

「一人勉強ノート」

ひとべん 一勉のすすめ

家庭学習習慣化を
図るための
一人勉強ノート
学校と家庭が
積極的にサポート



- 1 家庭での自学自習の習慣を付けさせる一人勉強ノート。内容もさまざまで、自ら学習課題を見つけて取り組む。
- 2 保護者も学校と一緒に頑張って積極的にサポート。



授業の地図

板書から授業の流れが見えてくる
思考の流れを
書き表すもの
板書は授業の地図

黒板は最も古くかつ一般的な授業ツールで、授業の核となることには今も昔も変わらな

い。授業で教師が黒板に書くことを「板書」というが、どの時点で、何を、どの位置に、どれくらいの大きさで書くかなど、事前に計画がしっかりされている。また、大仙市のすべての小中学校では、学習の「ねらい」を必ず板書する。学習目標を明確にし、そして最後には「ふりかえり」と称して自己評価して授業を終えるようにしている。

中仙小学校6年生、担任の菅原清三先生が社会科の授業を行っている。ノルマントン号事件の風刺画を使った授業。プロジェクターを使用し、スクリーンに風刺画が

映し出される。子どもたちのノートには、菅原先生が事前に用意した風刺画のコピーが貼られている。

「情報を提示し、共通の場で話を深める場合など、大きく映し出した絵を使います。今回は風刺画から何が読み取れるかが問題だったので、ポイントを共有する意味でスクリーンを使いました」と話す。

また、「板書は風刺画をもとにイギリスと日本間で結ばれていた不平等条約改正への動きに関心をもたせることがねらいでしたので、見開き2ページに収まるように板書しました」と事前に計画した自分のノートを見せてくれた。

子どもたちのノートを見ると計画通りに書かれており、なおかつ授業の流れを思い出せるような内容になっていた。

「板書は伝達ではありません。1時間の授業の中でねらいに到達するためのものであり、子どもと一緒に作り上げるものなのです」と授業の流れを映し出す鏡であることを教えてくれた。

- 1 文字だけでなく、時にはイラストや吹き出しなどを黒板に貼ったりしながら、学習を広げたり深めたりする。「思考の流れを書き表す」のが板書。
- 2 授業終了時には、「ふりかえり」を行い、自己評価を行う。(1・2とも小学1年生の道徳の授業)
- 3 プロジェクターを使用してスクリーンに教材の風刺画を映し出す。これをみんなで見ながら、どんなことが読み取れるかを話し合う。個別に資料を見るのではなく、ポイントを共有することで話しが深まり、全員で授業する雰囲気がつくり出される。
- 4 書き写すのではなく、考えを深めながらノートする。
- 5 計画通り見開き2ページに記入されたノート。



通

称「一勉」。一人勉強ノート、または家庭学習ノートと言ったりする自学自習のための道具だ。中身は国語や算数など教科はさまざまだが、小学1年生から取り組む。毎日何を勉強するかを子どもたちが自ら考えることで、自学自習と家庭で学習する習慣が自然に養われるという。

「他県の教員に秋田は家庭学習がしっかりしていると評価される」と話すのは大曲小学校研究主任の菅原潔先生。「家庭学習の内容は大切ですが、まずは家庭学習の習慣化が一番です。自学自習という習慣はすぐには身に付かないものですから、小学1年の9月、10月ごろから取り組みます」と話し



「学びのきほん」と書かれた家庭に配るプリントを見せてくれた。「学校での指導は全国で標準化していますから、家庭学習の力は大きいです」と菅原先生。プリントには学習のときのノートの使い方、家庭学習の手引きが書かれている。家庭学習の習慣付けとその内容の充実を家庭に知らせる物だ。

また、一勉ノートには、教師や保護者からのハナマルや応援メッセージなどが朱書きで添えられる。この朱書きが子どもたちの学習意欲を引き出している。家庭学習の習慣を早い段階から身に付けるために、学校と家庭が一枚岩となり家庭学習を積極的にサポートしている。

その4

授業力の向上が使命



- 1 子どもたちの声に耳を貸し、考えを深め、答えを導きだす。
- 2 いつも元気な谷口先生。今日はどんな発見が待っているのかな。
- 3 ほめながら子どものやる気を引き出す。
- 4 授業終了後、次の授業の打ち合わせにも余念がない。

「今日から水溶液の性質やはたらきについて調べましょう」と谷口先生のはりきった声が教室に響く。谷口先生の教科は理科で、県内に32人しかいない教育専門監の1人だ。

教育専門監は、高い専門知識と実践指導力で、優れた教育活動を行っている教員の中から県に認定

された教師。平成17年度から始まった秋田県独自の制度で、市内には谷口先生以外に、数学の藤原修悦先生や和中学校がある。

谷口先生は内小友小学校に籍を置き、藤木、大川西根、角間川小学校に出向き理科の授業を行う。授業では、常に子どもたちの関心を引き出す。また、課題に対する答えを子どもが自ら発見していけるよう授業を展開。決して答えや知識を伝達するのではない。常に子どもの疑問に耳を傾けながら、観察や実験の結果に基づき、自ら解決していけるような授業を展開する。

「子どもたちにはチャレンジする

「子どもたちにはチャレンジする

る気持ちを持ってもらいたい。いろいろなことに興味関心を持ってチャレンジすることで、世界が広がり自信にもつながる。その自信がさらなる意欲や思考力の向上につながります」

先生たちとともに授業を進め、専門的な立場から指導や助言をしたりもする。他の教師の見本となり授業力のアップ、そして大仙の子どもたちの理科の学力向上への使命感あふれる教育専門監。同僚からは、「観察や実験の進め方、授業の流れなど、より科学的な思考を引き出す取り組みなど、非常に参考になる」と頼りにされる。

その5

心に寄り添う

A くんの登校を毎朝玄関で迎える学校生活支援員。Aくんは、くんに気付かれないように登校の様子を確認し、今日の調子を観察する。機嫌が良さそうならあえて声をかけず、険しい表情の場合は偶然を装い声をかける。

学校生活支援員は、支援を必要とする幼児・児童生徒の学校生活をサポートするために学校に配置。日常生活、学習、移動、学校行事

などで介助や支援を行う。市内学校の支援員36人は、登校から下校まで子どもたちに「近からず遠からず」「つかず離れず」の距離を保ち、心や気持ちは子どもに寄り添うように心がけている。

学校生活に困難を抱え、支援を必要とする子どもの姿は多種多様。集団での活動や友達とのかかわり、スケジュールの急な変更、文字を読んだり書いたり、思ったこと

を言葉で伝えることが苦手だったり、子どもたちの困り感は大きく、担当する子どもたちの特性を知り、行動の先を読み、心や気持ちに寄り添うことに気を配りながら働く支援員。支援を必要とする子どもの一番の理解者として、子どもの育ちを助ける。

さらに日本語支援、複式支援、幼稚園の発達支援を含めると、合計45人が派遣され活躍している。

その6

本物にふれ



大 仙市では、県や国の事業を積極的に活用して一流の方々にゲストティーチャーとして招いている。

プロの技術を学ぶことはもちろん、努力や挫折や苦労など人生の先輩として学ぶべきことは多い。

さまざまな出会いの中で育つ子どもたち。本物にふれるような授業が展開されている。



豊かな学力を支える地域の力

「つながる力」

人は人と人の間で多くのかかわりを持ち成長する
学びの場は決して学校だけではない

私たちの地域にある有形無形の財産の中には、多くの学びや気づきが秘められている
つなげよう地域の力、人材を募れば大きな力が生み出されるはずだ



地域の元気印「Jingujiキャンで〜ず」。団員の演舞は観客を魅了し、元気を与えてくれる。

昔から神岡地域で歌い継がれ、地域の踊りとして運動会や文化祭などで踊られていた「秋田飴売り節」。同小学校が体育の授業で表現運動として、子どもたちが楽しめるように、ロック調にアレンジして取り組んだのが平成15年。翌年にはエアロビクスの動きも取り入れ、見栄えのするものに変化。その年9月に横手市の秋田ふるさと村で行われた「あきたYOSAKOIキッズ祭り」に初参加した。その後、「旗」が寄贈され、振り付けにもアレンジを加えながらパワーアップ。歌手も現在で3代目。団員27人は地域の元気印として活躍している。

「保護者はもちろん、地域の方々がボランティアとして応援してくれるんですよ。今年はボランティアの方に曲をアレンジしてもらいバージョンアップしました」と話すのは指導者の石山廣子先生。キャンで〜ずの生みの親でもある。

「私一人ではここまでできなかった」と言う。振り付け指導や曲のアレンジ、衣装やメイクなどといった準備、複数の目や手が必要など、保護者をはじめとした地域の方々の手伝いがなければ、今のよう活動はできなかったと振り返る。

今年にあきたYOSAKOIキッズ祭り以外にも、道の駅かみおかの誕生13周年記念、彩夏せんぼく、チビッコ芸能フェスティバル、神岡地域文化祭、先日の第2回飴売り節大会にも出演し、観衆を魅了している。

元気印の陰に地域の応援

紅白のねじり鉢巻きに大漁旗を思わせる長半纏（おだんまわ）。鼻筋やほお、目じりには化粧を施し、両手に飴売り棒と呼ばれる紅白の棒や鳴子を持ち躍動感あふれる踊りを披露するのは、神宮寺小学校「Jingujiキャンで〜ず」。団員の生き生きと元気いっぱい飛び跳ねる姿に思わず観客も引き込まれ、リズムを取り始める。

つながる力

【地域住民】
できる人が、できるときに
できることを
無理なく、楽しく

地域の力を子どもたちに

神宮寺小学校での取り組み

「学校支援地域本部」事業

特集

大仙市の子どもたちは
伸び盛り



神宮寺小学校の「スクールサポーター」は多種多様。

地域が支える学校

神宮寺小学校（田口桂校長・児童数183人）では「スクールサポーター」と呼ばれる学校での学習や諸活動を支援してくれる地域ボランティアが多数いる。

平成19・20年度に「コミュニティ・スクール推進事業」、20年度から22年度まで「学校支援地域本部事業」の研究指定・委嘱を文部科学省から受け、地域に開かれ信頼される学校の実現、そして学校と地域が力を合わせ、それぞれが輝く存在になることを目指している。

同校では、保護者、地域住民、公民館関係者などからなる「地域教育協議会」を組織。事業の企画、立案、評価、人材バンクの作成などを行う。次に地域と校内に「コーディネーター」と呼ばれる人を置き、学校とスクールサポーターとの連絡調整を図り、学校とボランティアをつないだり、ボランティア同士をつないだりしている。

スクールサポーターは学習活動や環境整備、学校行事、スクールガード、部活動、情報活動などの支援を行う。得意分野の授業、学校図書館の運営協力、花壇や農園の世話など内容はさまざま。活動のモットーを「できる人ができるときにできることを無理なく楽しく」としている。

多種多様な人材を活用

昨年度のサポーターは延べ851人。今年度は9月までに717人の方々に協力いただいている。保護者もとより、地域住民の割合が他校に比べ極めて高いのが同校の特徴。また、専門性を持たない

学校支援地域本部

キーワード

地域に開かれ、地域と一体となった学校づくり

平成18年の教育基本法改正により、学校、家庭、地域一体で子どもをはぐくむ環境の整備がうたわれたことに伴う文部科学省の委託事業。学校支援活動を行うボランティアと、学校の要望と活動のマッチングを行う地域コーディネーター、学校支援の企画や方針を決める地域教育協議会で構成される。

市では、昨年度から神宮寺小学校、協和小学校で地域本部を立ち上げ。今年度は市内すべての地域の学校で事業を開始している。

方々から専門職・専門性を持った人材まで幅広くサポート活動を行っている。このような活動から、学校と地域との「協働」「当事者意識」「相互理解」が生まれた。そして、子どもたちはたくさんの人たちとのふれあいを通して、学習意欲の向上、興味・関心の拡大はもちろんのこと、自分のよさを自覚できるようになった。

また、地域の方々も元氣とやる気をいただいている。サポーターとして授業を行った人からは「あのキラキラした瞳から元氣をもらった。明日からの仕事の活力になる」という感想が聞かれた。

学校が地域とつながることで、それぞれが輝き、地域全体が活性化することを神宮寺小学校は示してくれている。

地域との連携

01
民俗



石橋 甚一さん
(天曲地域)

地域になじみ心の交流

初夏の風物詩「鹿島流し」。花館小学校の鹿島舟は約3.6m×1.5mの大きさ。マコモで編まれ、願いを込めて玉川に流します。

鹿島舟製作は地区の老人クラブの役目。20年近く携わる石橋さんは、「子どもや仲間と交流できる楽しい年中行事。古くからの言い伝えを伝承する機会」と話します。



02
民俗



鈴木 誠一さん
(天曲地域)

手作りの楽しさは格別

藤木小学校で和凧作りを指導している鈴木さん。子どもたちに学んだ技術を伝えます。

骨組みを糸で結ぶのに悪戦苦闘する子どもたち。「難儀して作った凧が大空を舞ったときは格別。自然相手にいかに凧を揚げるか、考え工夫したことは決して忘れないでしょう」と微笑みます。



03
陶芸



田中 喜一さん
(神岡地域)

創造性や可能性に驚き

孫の小学校入学が縁で、北神小学校の子どもたちに陶芸体験を行っている田中さん。小学生の自由闊達な陶芸に触発され、陶芸暦は9年目になります。

「いろんなものを作ってごらん」とやさしく話しかけます。「子どもたちが、目的意識をもち、創造性や可能性を伸ばしてくれれば」と願います。



地域の先生

10人の証言

市内にはたくさんの地域の先生がいます
それぞれの分野に精通し、堪能な方々
学校と地域が対話する機会をつくり
地域全体で学びに携わっています
地域の力を生かした活動がなされています

08
茶道

櫻田
元雄さん
(仙北地域)



日本文化にふれる

向川寺住職・櫻田さんは茶道「宗偏流」の先生。8年ぐらい前から、茶道体験のためお寺に子どもたちを招いています。

子どもたちにとって、日本文化を感じられる数少ない機会。もうすぐ卒寿を迎える櫻田さんは、「子どもたちの和やかさが楽しい。元気と若さをいただいています」と話します。



06
書道

田口
正美さん
(協和地域)



一筆一筆に集中して

生涯学習に取り組む「仙人大学」の美術学部は、協和小学校で書道指導を行っています。

田口さんは、「基本的なことを学びながら、一筆一筆に集中する力を養ってもらいたい」と願います。旧小種小でも指導しており、「小学校の統合で子どもの数も多くなり張り合いを感じる」と話します。



04
民俗

佐藤
政紀さん
(西仙北地域)



ふるさとの思い出を

8月開催の「亀田街道まつり」。大沢郷小学校の子どもたちと地域住民が仮装して練り歩きます。

刈和野と亀田城下を結ぶ旧街道。この地区には往時のままに約1,300坪が残ります。街道の案内人も務める佐藤さんは、「年を重ねるごとにいやしてくれるふるさとの思い出を残すことは、私たちの使命」と話します。



09
音楽

高橋
恵美さん
小松
忍さん
(太田地域)



輝き増す姿に魅せられて

太田北小学校で読み聞かせを行っている二人。小松さんが童話の読み聞かせ用BGMをフルートで演奏したのがきっかけで、全校での音楽劇に発展。地域住民が音楽や踊り、舞台などに関わり3年目を迎えます。

熱演する子どもたち。ステージでの光り輝く姿に元気がパワーをもらっています。



07
民謡

八嶋
敏さん
(南外地域)



ふるさとの唄を後世に

民謡「南外小唄」を若い世代に伝えたいと、南外西小学校の児童に唄と踊りの指導を始めて6年が経ちます。

「子どもたちのひたむきな練習姿勢に、真面目に取り組むことの大切さをあらためて教わります」と話します。

今後も音楽を通して地域貢献できたらと考えています。



05
環境

佐藤
海彦さん
(中仙地域)



地域の貴重資源を教材に

絶滅危惧種のイバラトミヨ雄物型が用水路などに生息していた地区。現在は保全池で保護し、3年前からは清水小学校の子どもたちがお手伝い。

泥だらけでなり、予想外に喜んで作業する子どもたち。「作業の日は三世代交流となりました」と佐藤さんは目を細めます。



企業との連携

プロフェッショナルから実学体験



自信をもった逸品

「私たちが作った安全で安心な特別栽培米はいかがですか」。子どもたちの元気な声が店内に響き渡る。

「しかも、おいしいですよ」とそろいのエプロン姿で目をきらきらさせたチビッコ店員たちが、一口おむすびの試食を勧める。

コメ販売に挑戦しているのは協和小学校の5年生65人。10月30日、開店1周年記念イベントで多くの客がにぎわうジャスコ大曲店で、子どもたちは気後れすることなく接客販売に汗を流した。

販売したのは「特別栽培米あきたこまち」の2き、4き入の袋。イオングループ

- 1 そろいのエプロンを着て、大きな声で販売する子どもたち。「安全で安心な特別栽培米。しかもおいしいですよ」と買い物客に呼びかけます。
- 2 なまはげも子どもたちを応援。店内各所で子どもたちがお客さんを販売コーナーへと誘導します。
- 3 田植え、稲刈りなど実際の農作業も体験した子どもたち。作業中の子どもたちの瞳は生き生きと輝いていました。
- 4 お客さんに声をかけるのは、とっても勇気がいります。おっかなびっくりだけど、試食を勧める子どもたち。お客さんの「ありがとう」の声が忘れられません。
- 5 昼食は保護者が握ってくれた大きなおむすびをいただきました。

つながる力

【企業】
本物のもとでの実学
生きた教材からの学びは
自信と成長をもたらす

は協和小種の農業法人「たねっこ」が栽培した「あきたこまち」を昨年から全国で販売している。そのコメの田植えや稲刈りなどを手伝った子どもたちが販売体験を行った。

素朴な要望が実現

「私たちが育てたコメを販売してみたい」きっかけは、自然にわき上がった子どもたちの熱意だった。稲刈りのときの反省会。田んぼを訪れた同店の小倉通彰店長に子どもたちがお願した。小倉さんは「子どもたちの真剣なまなざしに、おもしろいのでオーケーと返答した」と当時を振り返る。イオングループとしても小学生が、自分たちの製品を自ら販売するのは初めてのケース。社内でも異論を唱える者もなく、全面的にバックアップすることに決まった。

当日は接客の基本、あいさつをイオン従業員から指導されることから始まった。6班に分かれた子どもたちは、販売担当以外にも入り口付近で客を呼び込むグループ、コメ栽培に関する研究を発表するグループなど役割を分担しながら、全員が販売を体験した。おばこ農協の職員

VOICE

ジャスコ大曲店店長 小倉通彰さん

要望を聞いたときは驚きましたが、なんとかかえたいという気持ちの方が強かったです。

いろんな可能性を含んだ体験学習。お役に立ててうれしく思います。



もなまはげやこまち娘に扮して協力。「たねっこ」の職員や保護者も協力した。「大きい声を出すのは難しい」「買ってくれた人がいてうれしかった」「客を呼び込むのは難しい」などと感想を述べる子どもたち。礼法指導から始まり、細々とした生きた指導。プロフェッショナルによる体験は、子どもたちを一回りも二回りも成長させてくれた。

多くの理解と協力で実現したコメ販売体験。田植えや稲刈りを行う小学校は数あるが、本物のステージでの貴重な販売体験まで行う学校はない。

昼食に、保護者が作ってくれた炊きたてのおむすびをほおぼる子どもたち。つやつやに炊きあがった一粒一粒のコメ以上の輝きを放っていた。

地域との連携

ふるさとを再発見し地域活性化

地域生活を支えた玉川が舞台

花館地区を流れる玉川は、地域に恵みをもたらした。歴史と文化をはぐくんできた。その川をサケが遡上する。そして人は、そのサケを捕獲し、冬場の貴重なタンパク源として生活してきた経緯がある。

現在ではサケを捕獲するウライという大掛かりな設備を設置しているが、100年以上昔から捕獲、採卵、受精、ふ化放流という作業を綿々で行っている。

ウライとは、サケの遡上を止めて魚道に誘導し捕獲する設備。玉川のウライは川幅いっぱいの約100mで、国内では最大級だ。そして採卵からふ化までは同地区にある市営ふ化場で行っている。

サケの捕獲は水温が下がる10月から12月まで行われ、毎年約4000匹を捕獲し、約240万匹の稚魚を放流している。

同地区のまちづくりグループ「花館コミュニティ会議」では、この先人から受け継いだ地域文化を後生に残し、それを地域活性化につなげようと頑張っている。

自然豊かな「姫神公園」、風物詩「川を渡るぼんでん」、そして「サケの遡上」。この3つを核に活動している。

ストーリー仕立てで学ぶ

好天に恵まれた11月7日、2回目となる「サケまつり」が玉川河川敷と市営ふ化場で行われた。以前の「ウライ見学とサケ試食会」をイベント化。見学だけでなく、サケのつかみ取り、イクラ丼やサケ汁を試食し川の恵みを実感した。

このイベントは3部構成で行われ、今回が第1部。第2部はふ化したサケの稚魚を地域の人たちで育て観察する。そして最後は、春3月に小学校を卒業する6年生が玉川で放流。ともに巣立ちを祝い、大きくなってふるさとに帰ってくることを誓うというストーリーになっている。

事務局を務める花館公民館は、これらの事業が評価され今年度の「全国優良公民館」として文部科学省から表彰された。地域資源を有効に活用しながら、子どもたちが有形無形の財産を学べる場。地域が持つ大きな力に違いない。

今年3月の第3部「旅立ちの式」で児童代表6人が「旅立ち、夢、希望。サケが明日に向かって元気に進むように、私たちも未来に向かって力強く進んでいきます」と述べた誓いの言葉がそれを物語る。

つながる力

【はなぐわい】

脈々と受け継がれる

地域文化は学びの宝庫

学びに機会は無限にある



VoicE

花館コミュニティ会議 佐藤正雄さん

私たちにとって身近なことに光を当てることで地域活性化が図られるのではないのでしょうか。

子どもだけでなく、地域の伝統文化を学ぶよい機会だったと思います。



- 1 日本最大級のウライを見学。
- 2 ふ化場では卵を手にとり、ふ化の様子を観察。
- 3 獲物ははかなくて重い。
- 4 イクラ丼とサケ汁。
- 5 参加者は川の恵みに舌づつみ。
- 6 地域住民の学習活動に大きく貢献していることが評価され、花館公民館が「優良公民館」として文部科学省から表彰された。
- 7 特製いけすに飛び込む子どもたち。

高校・大学との連携 人材を生かし互いが学び合う



英語科の生徒が小学生を支援

What's time did you get up? (何時におきましたか) I got up at six. (6時に起きました)
こんな日常会話でコミュニケーションを図っているのは、大曲小学校児童と大曲高校英語科の生徒。

平成23年から始まる小学校での外国語活動必修化を見据え、英語科のある大曲高校に市教育委員会を通じて支援要請し連携が実現。小学校の総合的な学習の時間、生徒がアシスタントとして教室に入る。英語指導助手(ALET)が、英語指導のため学校を巡回している。しかし大曲小のような大規模校になると、その機会は少ない。英語にふれる機会を増やしたい

- 1 高校生の兄さん姉さんが授業に訪れると、子どもたちは大喜び。高校生にとって最初の自己紹介は、「何回やっても緊張する」と言います。
- 2 丁寧に親切、にこやかに指導してくれます。高校生も学ぶことを楽しんでいるようです。
- 3 国際教養大学の学生を学校に招待して英語に親しみます。
- 4 座学ではありません。一緒に稲刈り体験しながら、日本の農業について学びました。
- 5 積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもたち。
- 6 国際教養大学に出かけ、講堂で教授から授業を受けました。
- 7 国際教養大学の図書館にもお邪魔しました。

つながる力

【高校・大学】
連携や交流することで
お互いが成長する
人材を有効活用した学び

小学校と高校の交流は1年前から始まった。大曲高校から大曲小までは徒歩5分の近さ。絶好のパートナーだった。

「兄弟のような優しさで子どもたちと接し、英語を支援してくれるので英語へのハードルも低くなります。親切丁寧な指導には感謝します」と小学校側。また、高校生も「小学生がかわいくてしょうがない。授業は楽しいし、教えることの難しさも体験できます。このような機会がもっと増えるといいと思います」と好感触。小学生、高校生がともに学び、成長する

機会は、人材を上手に活用した、まさに地域性が生かされていると感じた。当市では幼稚園、小中学校、高校など相互の連携を進めている。これ以外にも大曲工業高校の生徒たちが中学校を訪れて、ものづくりや測量体験、大曲農業高校で中高合同の農業体験を行っている。

異文化の中から大仙を知る

地域の国際化への取り組みが活発化している中、2月20日に市役所2階会議室で市と国際教養大学の「国際交流に関する連携プログラム協定」の調印式が行われた。国際教養大学の留学生と市の児

VOICE

大曲高校英語科2年 中田芽吹さん

将来は子どもに携わる仕事に就きたいと思っているので貴重な体験になります。このような機会がもっと増えればいいと思います。子どもたちの積極性を見習いたいと思います。



童生徒、未就学児との交流を進めるもの。連携プログラムは、5月から行われており、留学生が各学校を訪問し交流しているほか、子どもたちが国際教養大学を訪れ、国際交流を深めている。

秋田市雄和にある国際教養大学は独自の英語教育を行っており、留学生が多く在籍。大学側は留学生が地元の人と触れ合える貴重な機会ととらえている。また、市も子どもたちが海外の文化に触れる機会を増やしたいと考え、両者がマッチング。協定書の有効期間は1年間だが、どちらから解消の申し出がない限り延長される。

from
取材ノート



「地域とのコミュニケーションで
学力も向上」

政

府の行政刷新会議が行政の無駄を洗い出す、事業仕分けが完全公開されるなど関心を呼んでいる。仕分け人と官僚の熱い論戦がブラウン管に映し出された。その中に、藤原和博さん（大阪府教育委員会特別顧問）の姿が見えた。

東京都の義務教育課程で初の民間人校長。杉並区立和田中学校の校長として学校改革に取り組み、公立学校再生のモデルを作った人物。「地域本部」という保護者と地域ボランティアによる学校支援組織を学内に立ち上げ、英検協会と提携した「英語アドベンチャーコース」や進学塾と連携した夜間塾「夜スベ」に取り組み話題になった。和博さんは、今年に入り2度大仙市を訪ねている。2月12日には神宮寺小学校で行われている学校支援地域本部事業を、そして夏休み中の7月30日には、太田公民



KAZUHIRO FUJIWARA

藤原和博さん

Profile ◎ ふじわら・かずひろ
大阪府教委特別顧問／東京学芸大学客員教授

昭和30年生まれ。53年東京大学経済学部卒業後リクルート入社。平成15年4月から杉並区立和田中学校校長に、都内では義務教育初の民間人校長として就任。

和田中をモデルとした「学校支援地域本部」の全国展開に文部科学省が取り組んだため、20年4月からは校長を退職して全国行脚へ。大阪府から教育分野の特別顧問を委託され、大阪の小中高の活性化と学力向上に力を貸す。

館が行っている「学びい教室」、地域住民による学習指導を視察している。

神

宮寺小学校来校時には、視察後のわずかな時間だったが取材のチャンスを得た。

藤原さんは、さまざまな分野で活躍している地域住民が各教室で講師を務める授業を視察。農家の方が担当した授業では、箱の中に児童が手を入れ野菜の名前を当てたり、画家の方がデッサンを指導したり、さまざまな分野で活躍する地域住民ならではの授業と、いきいきと学習する子どもたちの姿を目の当たりにした。

各マスコミ合同でのインタビューということで応接室に通された私。彼の真っ正面に着席、50秒前に座る彼の目からは満足という二字が読み取れた。

「社会が多様化しているんだか

ら、教育カリキュラムも多様化しなければ」と開口一番。「子ども、家庭、学校を取り巻く変化が激しい今、学校は外と結びついた運営をしなければならぬ。鎖国状態では機能低下が避けられない」と話した。

社会全般のことを指導するためには、教師一人が立ち向かうのでは限界があること、そして地域の先生には知識、技術、そして経験を持つており、それらを有効に活用すること。地域の力を学校に取り組み、地域の人たちが寄りつく城を目指すことを指摘。

そして、地域と学校の関係について「斜めの関係」を構築すべきと話す。斜めの筋交いが揺れに強いように、地域の人たちが学校に入り、教員と別の関係をつくることで、子どもは強くなるという。「教員や保護者が正解を求めるため、

子どもが間違ふことを恐れてしまふ。間違ふながら最適な答えにたどり着くことが学力を高めること」と、斜めの関係の中で失敗を積み重ねる必要性を説いた。

最後に、変化が激しく、成熟した社会において「正解主義から「修正主義」に移行することの大切さも話してくれた。

「新たなことを導入するためには100回会議して正解を出そうとしても無駄。現実社会には正解はないのだから、まず一步を踏み出そう。そして無限に修正していくことが大切」と教えてくれた。

な

お、神岡小学校訪問時の様子や感想については、「学力No1秋田の小学校訪問記」として藤原さんのホームページ「よのかnet」(<http://www.yonokanet/>)のトップページ「カズ通信」でも紹介されている。

「教育にとって大切なこと」

平成21年度大仙市PTA連合会研修会

読売新聞東京本社特別編集委員

橋本五郎さん



秋田の教育はすばらしい

大仙市PTA連合会の第1回研修会が11月4日、仙北ふれあい文化センターで行われた。

読売新聞東京本社特別編集委員の橋本五郎さんを講師に招き、「教育にとって大切なこと」という演題で講演いただいた。

橋本さんは、八郎潟の東の琴丘町(現在の三種町)に6人兄弟(男5人姉1人)の末っ子として生まれた。政治記者として国内外の政界の裏舞台取材した経験から、日本の政治・経済の見通しについて鋭く分析する。

講演では「秋田の教育はすばらしい」と前置き。暗いニュースが続いた秋田県において全国学力テストの結果は元気を与えたと喜ぶ。1年目はまぐれと思われたが、2年目には本物ということに気がつき、いろいろな人が注目するようになった。秋田県の教育がすばらしいのは、勝手にだが「早寝早起き

家庭との連携

子どもたちの生活基盤となる家庭
家庭と学校、そして家庭同士
いま連携が求められています

朝ご飯^{プラス}と先生だ」と言い放つ。

「秋田の朝は田畑の仕事があるため早い。子どもたちも親と一緒に早起きし、仕事や朝ご飯の手伝いを行う。日中は学校で精一杯、必然的に夜遅くまで起きてはられない。とても健康的な生活習慣が自然に身に付く」と言う。

また、「秋田の先生は熱心だ」とも。秋田県では教員採用が狭き門。試験倍率が高く、秋田で先生になるには大変。その分、教師になった人は一生懸命になる。それらがミックスして秋田の教育を良くしている」という理論だ。

先生の影響力というところで、自身が高校2年生のときに校長先生に問いかけられた言葉を紹介。
「汝^{なれ}何がためにそこに在りや」という言葉は、いまでもどこからか聞こえ、自問自答するところがあるという。また、その先生は「教育とは青少年の足を洗うことであ

母親は「お天道様」です

「身を低くして謙虚に相手に接することだと思う」と先生の教えを紹介してくれた。

4年前に胃がんで死と直面した橋本さん。一番支えになったのは家族だったが、主治医の先生も心強かった。先生を全面的に信頼すること、医師と患者の信頼関係がいかに大切かを学んだ。

病気になることで多くのことを学び、いろんな人がいろんなことで大変なのだと思いついた。そんなとき、母親の一生とはどんなだったんだろう、反すうしてみようと思ったという。

10年以上前に81歳で亡くなった母は、父と子どもの弁当を毎朝7つ作り、何時に寝ているのか

GOROU HASHIMOTO

橋本五郎さん

Profile ◎ はしもと・ごろう

秋田県三種町(旧琴丘町)出身で読売新聞東京本社特別編集委員
日本テレビ系列「ズームイン!! SUPER!」でニュース解説を担当。
政治記者として、長年にわたり国内外の政界の舞台裏取材した経験から、日ごろ垣間見ることのできない、内側から見た日本の政治・経済の見通しについて鋭く分析する。

特集 大仙市の子どもたちは
伸び盛り



大仙市PTA連合会会長
齋藤 靖さん

子どもたちのふるさとへの 良い思い出づくりもPTA活動のひとつ

就職や進学で、ふるさとを離れなければならない子どもたちにも「ふるすとは良いもの」「将来戻りたい」「ふるさとのために何かしたい」と思えるように、地域、人、そして家族のよさを心に植え付けられたらと思います。

そのためには地域や学校行事などで、ふるさとでの良い思い出づくりをするのがPTAの役目だと思います。

また、スポ少活動で胸につけているチーム名や地域の名前は、日本代表の日の丸と同じで、地域への誇りや愛情を育てるのではないのでしょうか。



大仙市PTA連合会副会長
加藤 実さん

のびのびと安全に活動できるよう 学校生活をサポート

子どもたちが学校で自由に、のびのびと安全に活動できるようサポートするのがPTAの役目ではないでしょうか。

私がPTA会長を務める西仙北東中では、今年初めて学校全体での教職員と保護者の情報交換を行いました。

子どもと一緒に学校活動に参加することで、子どもの家庭では見られない姿が学校で発見できるかもしれません。“PTA”に固いイメージを持つかもしれませんが、積極的に参加して子どもたちの活動を広い目で見てもらいたいと思います。



大仙市PTA連合会副会長
藤原 鈴司さん

PTAに参加して 人の輪を広げよう

PTA役員は敬遠されがちですが、私は可能な限り、積極的に参加したいと思います。確かに難儀な仕事ではありますが。しかし、前向きにとらえ、家庭、地域、学校の仲立ちを行い、互いに連携させるパイプ役を努めることによって親として学ぶことも多いと思います。

子どもが小学生なら親としても小学生。子どもと一緒に親も学ばなければなりません。そのためには、親同士で成長し合う場が必要です。

地域コミュニティが希薄だと言われる時代、人や地域を知り、分かり合えることは大切なこと。子どもを核としながら活動するPTAは人の輪を広げる、またとないチャンスの場だと思います。

分からなかった。父は教師だったが安月給。母は毎月子どもたちを集め、仏壇に「給料」を供え感謝するのが、橋本家の儀式だった。感謝する気持ちを教えていたのだらう。後に、生命保険会社で働きだした母の給料の方が多くなってきた時、さりげなく父の

方を増やしたり、いつも父を立てる姿が印象的だったという。父は早くに亡くなり、母は30年間独り暮らし。亡くなる時も、親元を離れ生活している子どもたちに迷惑を掛けまいとするかのように、日曜に死んでいった。母は結局平均的な日本の母の姿であったかもしれないが、子どもにとって母の存在は計り知れなく大きいと話す。

「お天道様が見てる」という言葉があるが、橋本さんにとっての、お天道様は母。母に感謝していると少し涙ぐんだ。
「厳しい環境の中で子どもを育てなければならぬ状況かもしれない。しかし、家庭が最後の場であり、大切な場。しっかりとしなければならぬ。そして学校では先生に任せることが大切だと思う」と家族愛、学校愛、地域愛の大切さをあらためて教えてくれた。

キーワード

家庭と地域、学校の連携「大仙市PTA連合会」

市内の各小中学校と幼稚園の保護者、教師、教育委員会が相互に協力し、子どもたちの健全な育成のため昨年7月に設立。今年保育園も加入し、結びつきを強め、活動を盛んにし

ている。幼稚園や保育園も含めた連合会は県内でも初の組織。連合会には小学校26校、中学校12校、幼稚園8園の46PTAに任意の保育園が参加。会員は約7,000人。

子どもたちが自ら考え 地域を動かす

市内 12 中学校の取り組み

「中学生サミット」

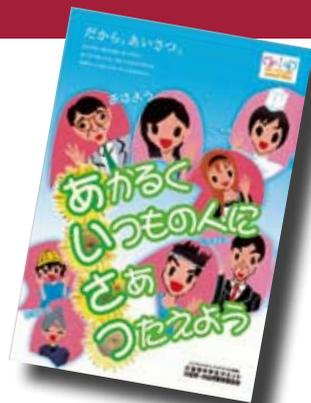
始まりは「あいさつの輪」だった

市内12中学校の代表が集まって話し合う「中学生サミット」。大仙市誕生を機に、中学生の視点から地域づくりを考え、中学生自らができることを探し、地域に発信しようと平成19年7月に誕生した。市教育委員会の「心ふれあう さわやか大仙」事業として継続している。

初年度は「あいさつの花を咲かそう」と「おはようプロジェクト（おはプロ）」運動を市内の小・中学校43校が一体となって展開。小・中学生が登下校の途中、地域住民に積極的にあいさつする姿はさわやかな共感を呼んだ。共通ポスターや各中学校15秒コマーションを制作しテレビで放送。市民へ呼びかけた。

2年目からは「おはプロ」は継続することを確認。そして「リサイクル」「エコ」「ボランティア」に関連した「REVOプロジェクト」を展開することを決めた。REVOは「Recycle」「Eco」「Volunteer」の頭文

まちで見かけるポスターは、中学生から私たちへのメッセージ
 上段が「あいさつ」に関するもので、下段は「環境」について訴えています。





生徒会の連携 地域に情報発信

字から取った造語だ。

サミットでは、小・中学校、それに家庭や地域が一体となれるような共通テーマを設定し、毎年取り組んでいる。「REV O」を合言葉に地域づくりも環境問題も基本は「相手への思いやり」と、さまざまな活動に取り組む。

4回目となる今年のサミットは大仙美郷クリーンセンターで、8月12日に開かれ、オブザーバーとして市PTA連合会の方々が初参加した。

クリーンセンター見学後の話し合いでは、これまでの活動を継続することを確認し、各校がそれぞれの活動を報告した。

意見交換では「アサガオやゴーヤを育てて教室の窓への直射日光を避けている」「アルミ缶を回収して換金し、福祉施設に寄贈する車いすの購入費用に充てている」「大曲の花火の次の日に小学生と一緒に清掃し、アルミ缶を回収している」「アルミ缶やプルタブを学級対抗で回収している」などの活動が報告された。

そして地域のエコ意識の高め方については「小・中学校が共同でボトル回収を始めている」「取り組みを地域の人たちに詳しく説明したい」「地域にチラシを配って空きビン回収への協力を呼びかけている」などの意見が出された。

当初は「あいさつの輪を広げよう」でスタートしたサミット。アルミ缶やプルタブ回収などを通じて地域の人との絆を深め、環境保全活動が各校共通の取り組みとなり、地域を動かし始めている。

中学生が地域住民への情報発信のために制作した歴代のポスター



はばたけ、地域とともに
伸び盛りの大仙の子どもたち
大仙の力は ∞ 無限大



取材を終えて 地域全体で子育てにかかわろう 多くのかかわりの中で人は成長できる (し)

学校に取材に出かければ、生き生きとした子どもたちの笑顔に出会える。大仙市の子どもたちは豊かな風土、恵まれた環境で育つ。学校では、創意工夫を生かした特色ある教育活動の中で子どもたちの持つ生まれた資質・能力を引き出そうとする姿勢が随所に感じられる。

教育を意味する「エデュケーションeducation」には、「引き出す」という意味がある。まさに子どもたちの無限の可能性を引き出す活動が行われているといった感じだ。

地域では、愛情あふれるいろいろな眼差しが、子どもたちを見つめている。子どもたちは多くの刺激を受けている。一人の目ではなく、多種多様な人との交流の中で評価されることにより、子どもたちは自分のよさを認めてもらい、気づき、それが自信につながる。教育用語では「肯定的自己概念」というそうだが、自信は意欲へとつながり、次なる挑戦へと続く。このプラスの連鎖が、より良い方向へと導いているに違いない。

保護者の方はもちろん、これから保護者になる人も、また子育てを終えたと思っている人も、地域で子どもを育てよう。私たち一人一人は貴重な人材であり、まだまだ伝えなければならな

いものを持っている。そして、伝えることで感動が生まれ、新たな喜びがそこに生じるはずだ。

子どもたちの笑い声や笑顔を聞いた見たりすると、気持ちがあらぐのはなぜだろう。それは、きっと子どもたちから元気をもらっているからだ。

未来を担う子どもは地域の宝であり、宝石である。しかし、宝石は磨いてこそ光り輝く。子どもたちの無限の可能性を引き出し、地域を照らすために私たちは何をしなければならぬか。答えは自ずと見えてくる。

日本全国から注目を浴びる『大仙市の教育』。注目されているのは学力だけはない、体力もそうだし生きる力である心力も同じだ。

「伸び盛りの大仙市の子どもたち」心技体ともそろった大仙市の教育は、一日にして今の地位にいたったのではない。これまでの積み重ねであり、地域全体の努力のたまものである。

この歩みを決して私たちは忘れてはならない。そして、これからも続けていかなければならない。

大仙市の教育、大仙の力は、そう「∞」無限大なのだから。

【特集】大仙市の子どもたちは伸び盛り

(終わり)



学校や家族で環境への取り組みを実施
今年の取り組みの成果を報告します

7786人が実践した省エネ生活

子どもとご両親はじめよう！暮らしの エコチャレンジと環境家族宣言

今年で2回目となる「子どもといっしょにはじめよう！暮らしのエコチャレンジ」と「環境家族宣言」。たくさんの方々に参加していただき、昨年よりも多くの二酸化炭素削減を達成することができました。

地球温暖化を防ぐことは、私たちに課せられた最重要課題のひとつです。ごみを出さないこと、水の消費を抑えること、電気を無駄遣いしないこと。身近な取り組みからできることがたくさんあります。まずは、身近な取り組みから始めてみませんか。

市では、今後もさまざまな環境にやさしい取り組みを実施する予定です。みなさんの参加をお待ちしています。

【問い合わせ】

環境課 ☎0187(63) 1111 内線277まで

Interview

環境家族宣言に取り組んで
自分たちの取り組みを
地球温暖化防止に



大曲中学校生徒会副会長
豊島ほなみさん(3年・写真左)
斉藤香歩さん(3年)

学校全体でプラタブやペットボトルの回収などを行ってきましたが、家では特に意識して取り組んだことはありませんでした。

今回、環境家族宣言に参加し、小さな取り組みでも、みんなで協力すれば温暖化防止に役立つということを知りました。

この取り組みを継続し、多くの二酸化炭素を削減できるよう、後輩たちにも頑張ってもらいたいと思います。

取り組み1

簡易環境家計簿で省エネを実感！
子どもといっしょにはじめよう！暮らしのエコチャレンジ

子どもたちが「身近な暮らし」と「環境」との関わりを学び、環境を守るために自ら考えて行動する力を育み、環境に優しいライフスタイルを身につけてもらう取り組みです。取り組み状況を数値化し、毎日の取り組みを記入しながら省エネの成果を確認します。

「ごみ」「水」「エネルギー」の3つのテーマの中から、学校ごとに1つのテーマを選択し、普段の生活を1週間かけて点検。その後、エコチャレンジシートで生活環境を調査し、省エネの成果を数字で体感してもらいました。今年、市内の26小学校の4年生が夏休み期間に実施しました。なお、参加していただいた学校には「エコチャレンジ参加認定証」を交付しています。

取り組み2

宣言項目を守って
二酸化炭素を削減！
環境家族宣言

環境への負荷を減らすための仕組みである、国際的な環境マネジメンツシステム「ISO14001」(環境ISO)を応用した二酸化炭素削減プログラムです。

「ごみ」や「省エネ」など身近な取り組みを対象にしているため各家庭で無理なく取り組みます。

数項目の環境に配慮した行動目標と責任者を決め、1カ月の行動を記録します。計算や記録する項目を少なくし取り組みやすくしています。

8月に市内在住、または通勤している方々や市内12中学校の生徒の家庭にも参加していただき、計1794世帯(7100人)が参加しました。

なお、環境家族に認定された世帯と各中学校には「環境家族認定証」を交付しています。



参加していただいたみなさんには「エコチャレンジ参加認定証」(写真上)や「環境家族認定証」を交付しました。

期限は来年3月末まで(予定)
購入希望の方はお早めに

電気式生ごみ処理機 購入費補助金

電気式生ごみ処理機の購入費用を一部補助します。希望する方は、必ず購入前に申請してください。

交付を受けた方には、処理機による減量成果やたい肥の利用効果について意見をうかがいます。

対象／電気式生ごみ処理機購入者※過去に当補助金の交付を受けている世帯は、交付後5年間は補助を受けられません。

補助台数／1世帯につき1基

補助額／電気式生ごみ処理機購入費の2分の1以内で、補助上限50,000円

申請期限／平成22年3月31日(予定)

必要書類／申請書、購入予定機種のパンフレット、見積書

【問い合わせ】

各総合支所市民課
環境課 ☎0187-63-1111
内線275まで



取り組み1の成果

全体で309kgの二酸化炭素を削減

子どもといっしょにはじめよう!
暮らしのエコチャレンジ

①ごみとリサイクル

1週間でどれだけごみを削減できるか

実施人数／335人(14小学校)

燃やせるごみの総削減量／約450kg

二酸化炭素削減量／約153kg

燃やせるごみ袋
(大)約100個分
のごみを削減

②くらしの中の水

1週間でどれだけ水使用量を削減できるか

実施人数／236人(8小学校)

水の総削減量／105,007ℓ

二酸化炭素削減量／約38kg

1杯300ℓのバス
タブで約350杯
の水を節約

③くらしの中のエネルギー

1週間でどれだけ電気使用量を削減できるか

実施人数／115人(6校)

電気の総削減量／302kWh

二酸化炭素削減量／約118kg

28型テレビ(150Wh)
で、約2,013時間分
の電気を節約

参加人数／686人(市内の小学4年生)

※複数のテーマを選択した学校もあります。

Prize

環境への取り組み、大曲南中学校が全国の中学校で1位に輝く

第4回エネルギー教育賞中学校の部で最優秀賞



受賞の報告に訪れた大曲南中の加賀谷校長(写真中央)と島田智先生。(写真右)

大曲南中学校(加賀谷孔作校長・生徒数122人)が、電気新聞が主催する「エネルギー教育賞」の中学校の部で最優秀賞を受賞しました。

この賞は、次世代を対象とした多様なエネルギー教育の取り組みや「科学する心」の育成を目指して毎年行われているものです。今年で4回目となる大会には全国の小中学校・高校から63の応募がありました。

大曲南中の受賞は、地元企業など外部との連携の活発さ、生徒が幅広い思考を養うために行われている学習内容などの独自性が評価されたもの。加賀谷校長は「総合的な学習の時間を核に、エネルギーと地球温暖化について学んできました。それが評価され喜びで一歩です」と語ってくれました。

取り組み2の成果

全体で5621kgの
二酸化炭素を削減

環境家族宣言

一般世帯

実施期間／8月1日から31日まで(1カ月)

参加世帯／152世帯

参加人数／491人

二酸化炭素削減量
約1,696kg

中学生世帯

実施期間／夏休み中の任意の1週間

参加世帯／1,645世帯

参加人数／6,609人

二酸化炭素削減量
約3,925kg

一般・中学生世帯合計

参加世帯／1,797世帯

参加人数／7,100人

各保育所の定員と申し込み先

| 地域 | 保育所 | 定員 | 申し込み先 |
|--------|---------|------|--|
| 大曲 | 角間川保育園 | 45人 | 大曲庁舎 市民ホール ※大曲地域の保育園の申し込みのほか、市内全保育園の申し込みも受け付けます。 |
| | 内小友保育園 | 60人 | |
| | 大川西根保育園 | 45人 | |
| | 藤木保育園 | 45人 | |
| | 四ツ屋保育園 | 120人 | |
| | 大曲乳児保育園 | 45人 | |
| | 大曲東保育園 | 120人 | |
| | 大曲南保育園 | 135人 | |
| | 大曲中央保育園 | 90人 | |
| | はなだて保育園 | 120人 | |
| 大曲北保育園 | 90人 | | |
| どれみ保育園 | 30人 | | |
| 神岡 | 神岡保育園 | 120人 | 神岡総合支所 市民課 |
| 西仙北 | 刈和野保育園 | 120人 | 西仙北総合支所 市民課 |
| | みつば保育園 | 90人 | |
| 中仙 | 中仙西保育園 | 150人 | 中仙総合支所 市民課 |
| | 中仙東保育園 | 120人 | |
| 協和 | 協和保育園 | 110人 | 協和総合支所 市民課 |
| | 淀川保育園 | 45人 | |
| | 船岡保育園 | 45人 | |
| 南外 | 南外保育園 | 60人 | 南外総合支所 市民課 |
| 仙北 | 仙北南保育園 | 120人 | 仙北総合支所 市民課 |
| 太田 | おおた保育園 | 90人 | 太田総合支所 市民課 |

※生後 57 日目から入所することができます。定員を超えた場合は希望する保育所に入所できない場合があります。
※大曲乳児保育園は3歳児未満、南外保育園は原則3歳児以下。

申込受付期間 12/16(水)▷12/20(日)

時間/午前8時30分~午後6時(大曲庁舎は午後7時まで)
申し込み先/左図参照

※19日(土)・20日(日)は午前8時30分~午後5時まで

提出書類

- ①平成21年分源泉徴収票の写し(職場から発行され次第提出)
 - ②確定申告をする方は申告書の写し(申告後提出)
 - ③21年1月2日以降に大仙市に転入された方は、21年1月1日現在の住所地の21年度住民税課税(非課税)証明書など
 - ④すこやか子育て支援事業保育料減額申請書(福祉医療受給者証の写しを添付)
- 就学前の子どもがいる保護者で、「日中子どもと離れて家事以外の仕事をしている」「病気だったり病人の看護をしている」などの理由から、自宅での保育が難しいため保育所への入所を希望する方は、入所の申し込み手続きをしてください。
申込書は児童家庭課、各総合支所市民課または各保育所にあります。現在、入所中の子どもがいる方には、保育所を通じて申込書をお渡しします。

【問い合わせ】

各総合支所市民課、児童家庭課 ☎ 0187-63-1111 内線 174 まで

幼保 稚育 園所 の

申込受付期間 12/9(水)▷12/18(金)

時間/午前8時30分~午後5時15分(土・日曜日を除く)
申し込み先/下図参照

各へき地保育所の問い合わせ・申し込み先

| 地域 | 保育所 | 申し込み先 |
|-----|----------|------------------------------|
| 大曲 | 川目へき地保育所 | 川目へき地保育所 ☎ 0187-62-1021 |
| | 高畑へき地保育所 | 高畑へき地保育所 ☎ 0187-63-6042 |
| 西仙北 | 土川保育園 | 西仙北総合支所市民課 ☎ 0187-75-2973 |

平成22年度入園児を募集
入所希望の方は各保育所、または西仙北総合支所市民課で手続きを行ってください。通所区域、保育時間については各保育所、または西仙北総合支所市民課まで問い合わせください。(問い合わせ先は左図参照)

平成 22 年度からの
入園申し込み **幼稚園**

申込受付期間 12/7月▷12/14月

時間/午前8時30分～午後5時(土・日曜日、休園日を除く)
申し込み先/入園を希望する幼稚園(下図参照)

各幼稚園の定員と申し込み先

| 幼稚園 | | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 申し込み先・所在 |
|-------|---------------------|-----|-----|-----|--|
| 大曲保育会 | 大曲南幼稚園 | 40人 | 47人 | 49人 | ☎0187-62-1027 大曲花園町4-88 |
| | 大曲北幼稚園 | 20人 | 21人 | 18人 | ☎0187-63-5118 大曲白金町12-12 |
| 市立幼稚園 | かみおか幼稚園 (認定こども園) | 35人 | 35人 | 35人 | ☎0187-72-2148 神宮寺中瀬古川敷31-4 ※幼保合わせて |
| | 中仙幼稚園 (認定こども園予定) | 50人 | 50人 | 50人 | ☎0187-56-4128 長野新山131 ※幼保合わせて |
| | 南外幼稚園 | — | 35人 | 12人 | ☎0187-73-1088 南外梨木田96-1 |
| | みどり幼稚園 | 40人 | 35人 | 24人 | ☎0187-69-2117 堀見内藍野75-1 |
| | 太田ひがし幼稚園 | 20人 | 28人 | 20人 | ☎0187-89-1515 太田町太田築地古館27 |
| | 太田みなみ幼稚園 | 20人 | 23人 | 13人 | ☎0187-88-2110 太田町横沢窪関南535-4 |

※募集人員を超えた場合は調整があります。

幼稚園の新入園児を募集します。
入園希望の幼稚園に申し込みください。

対象

- 〔5歳児〕平成16年4月2日から17年4月1日までに生まれた子ども
- 〔4歳児〕17年4月2日から18年4月1日までに生まれた子ども
- 〔3歳児〕18年4月2日から19年4月1日までに生まれた子ども

幼稚園の法人化

市立幼稚園は平成23年に、かみおか幼稚園と中仙幼稚園、平成24年に、みどり幼稚園・太田ひがし幼稚園・太田みなみ幼稚園、平成25年に南外幼稚園が法人立に移行する予定です。

【問い合わせ・申込書請求】

入園を希望する各幼稚園(左図参照)
【大曲保育会】大曲保育会事務局 ☎0187-62-4561
【市立幼稚園】各地域の教育委員会分室
学校教育課 ☎0187-63-1111-内線 341 まで

申し込み案内

来年度の
受け付けが
始まるよ!

12月の「まるこのひろば」

都市再生住宅1階に設置した「子育て支援拠点施設」と「高齢者生活相談所」で各種イベントを開催します。子育て支援拠点施設は、子育て相談や親子の憩いの場としていつでも利用できます。

◆会場／都市再生住宅1階（大曲大花町）

【問い合わせ】

児童家庭課 ☎ 0187-63-1111 内線 177

援護福祉課 ☎ 0187-63-1111 内線 170 まで

| 子育て支援拠点施設 | 高齢者生活相談所 |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| みんなであそぼう（親子で交流） 12月10日（木）午前10時30分～ | 【相談】 随時、年齢のための生活相談に応じます |
| ミニクリスマスツリーをつくるう 12月14日（月）午後1時30分～ | |
| 絵本の日（親子で絵本の世界へ） 12月15日（火）午前10時30分～ | 【体操教室】 毎週月曜日午前10時～ （祝日を除く） |
| クリスマスお楽しみ会 12月22日（火）午前10時30分～ | |
| 誕生会（12月生まれの子） 12月25日（金）午前10時30分～ | |



お気軽に
ご相談ください



子育ての悩み相談始めました
まるこの電話相談

大花都市再生住宅1階に開設された「まるこのひろば」に、地域子育て支援拠点事業の一環として、子育ての悩みを気軽に相談できる「子育て相談専用電話」を設置しました。
子育てアドバイザーが対応しますので、お気軽にご相談ください。
※水曜日は休館日です。

【相談電話】

☎ 0187 (63) 4166まで
（午前10時～午後4時）

来年4月からの 学校給食物資 納入業者の公募

市内の各学校給食センターで使用する、給食物資（食料品）の納入を希望する場合は登録申請が必要です。

納入業者の決定は入札（見積書）で行いますので、入札を希望する業者は申請ください。申請書や応募条件などの詳細については、学校給食総合センターまでお問い合わせください。

◆申請受付期限／1月15日（金）

【問い合わせ】

学校給食総合センター

☎ 0187-86-4171 まで

市では、障がいのある方やその家族が抱えているさまざまな悩みを気兼ねなく相談できるよう、障がい福祉相談会を開催します。相談会は、市と障がいに関する相談支援事業所が一緒になって行います。
なお、内容によっては、お答えすることができない場合があります。そのような場合は専門の相談機関をご紹介します。相談内容や個人情報等は第三者に漏れることはありませんので、お気軽にご相談ください。
当日来られない場合は、相談したい事業所に直接ご連絡ください。

相談支援事業所

大仙障害者相談
支援センターかしわ
☎ 0187-87-7300

大曲仙北角間川更生園
指定相談支援事業所
☎ 0187-65-3676

自立支援指定相談
支援事業所あさひ
☎ 018-892-2881

【問い合わせ】

援護福祉課
☎ 0187 (63) 1111
内線 167・168 まで

12/13 日
10:00～13:00
大曲交流センター

障がいに関する悩みを
ご相談ください
障がい福祉相談会



12月26日オープン予定 協和スキー場の 従業員募集

2010年シーズンの協和スキー場従業員を募集します。

希望する方はハローワークを経由し、応募してください。

◆職種・人員

【リフト従業員】 14人（1人は圧雪車の運転を兼ねる。1人は除雪車の運転を兼ねる。要大特・車両系免許）

【美山荘食堂従業員】 5人

【売店従業員】 3人

【圧雪車運転従業員】 1人（要大特・車両系免許資格）

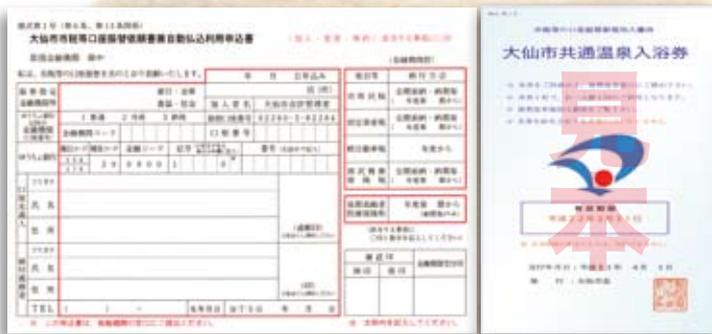
◆応募資格／土曜・日曜日、祝日に勤務が可能な方

◆雇用条件

期間 12月23日（水）から3月9日（火）まで

休日 週に2日を予定

勤務時間 午前7時40分～午後



新規に口座振込の申し込みをされた方に、大仙市共通入浴券（写真右）を差し上げます。口座振替を希望する方は、申請書に必要事項を記入し金融機関へ提出してください。申込書（写真左）は各金融機関、収納推進課、各総合支所市民課にあります。

締め切り間近、ぜひお申し込みください 市税等口座振替新規加入キャンペーン

市では、市税等の納付に便利な口座振替を多くのおみなさんにご利用いただくため、新たに口座振替を申し込みいただいた方に、市内の温泉施設（16カ所）のいずれかでご利用いただける「無料入浴券（1回券2枚）」を差し上げています。

対象／12月30日（水）まで金融機関に口座振替を申し込まれた方
入浴券利用期限／平成22年3月31日（水）
【問い合わせ】
収納推進課
☎0187(63)1111
内線1111まで

口座振替ご利用のみなさんへ 12月の市税口座振替日は30日

市県民税第4期、国民健康保険税第6期、後期高齢者医療保険料第6期の口座振替日は、12月の金融機関最終営業日です。今年は12月30日（水）となりますのでご注意ください。

大曲・西仙北地域の市営住宅 入居者募集

◆募集住宅／

【大曲地域】

上大町市営住宅一般向け・1戸（3K・S53建設）

家賃＝13,500円～20,200円

船場町市営住宅一般向け・1戸（2LDK・H2建設）

家賃＝18,400円～27,400円

【西仙北地域】

天神前市営住宅一般向け・1戸（2DK・S48建設）

家賃＝4,200円～6,300円

※家賃は住宅の設備や入居者の収入によって異なります。

◆入居資格／

①同居する親族がいる方。ただし、高齢者や障害者の方は単身でも入居できる場合があります。

②住宅に困っている方

③収入が条例で定められている収入基準以下の方

④市町村税に滞納がない方

⑤同居者を含め全員が暴力団員（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員）でないこと

※入居の際には市内に居住する連帯保証人が必要になります。

◆入居可能日／平成22年1月20日（水）

◆申込受付期間／12月1日（火）から12月14日（月）までの午前9時～午後5時（土・日曜日を除く）

【問い合わせ・申し込み】

【大曲地域】

都市計画課 ☎0187-66-4908

【西仙北地域】

西仙北総合支所建設課 ☎0187-75-2971 まで

【西仙北地域】 昨年から引き続き「地域住宅交付金事業」により、刈和野地区に木造2階建3DKの住宅を2棟4戸を建築中です。

【協和地域】 「まちづくり交付金事業」により、JR羽後境駅東口側に木造2階建3DKの住宅を8棟16戸を建築中です。



12月中に完成予定!! 西仙北・協和地域の市営住宅

西仙北と協和の2地域で、若者の定住化を促進するための低額所得者向け市営住宅を建築しています。12月中に完成し、1月に入居の申し込み受け付けを開始する予定です。住宅の詳細については、完成後に広報等でお知らせします。

◆入居申込受付期間／平成22年1月4日（月）から

◆入居可能日／22年3月1日（月）

【問い合わせ】

【西仙北地域】 西仙北総合支所建設課 ☎0187-75-2971

【協和地域】 協和総合支所建設課 ☎018-892-3708 まで

【問い合わせ】

教育委員会協和分室

☎018(892)3820まで

◆申し込み先／ハローワーク大曲
◆申込受付期間／12月2日（水）から12月8日（火）まで

※その他、圧雪車運転賃金として時給1100円

【売店従業員】5800円

【美山荘食堂従業員】5800円

【リフト従業員】6500円

賃金（日額）

の運転は午前2時～8時

後4時40分（ナイター実施日の勤務あり）ただし、圧雪車の



フォトスケッチ

錦秋の池田氏庭園

11月上旬、国指定名勝「池田氏庭園」と「旧池田氏（払田）庭園」が紅葉の見ごろを迎えました。東北三大地主と称された池田家。国内最大級の大型雪見灯籠がある穏やかで悠々とした池田氏庭園、紅葉の名所として知られる旧池田氏（払田）庭園の秋の美しさをご覧ください。

また、11月7日・8日には、池田氏庭園秋季特別公開が行われ、県内外から訪れた6300人が紅葉鮮やかな庭園を楽しみました。





池田氏庭園

東北三大地主と称された池田家。42,000平方メートルにも及ぶ敷地の中に、池泉廻遊式の庭園や洋館、米蔵などの建築物が残されています。庭園内には、高さ約4メートルの日本最大級の雪見灯籠があり、圧倒的な迫力と均整のとれた造形美で見る人に大きな驚きと感動を与えます。※特別公開以外は非公開となっています。



旧池田氏(弘田)庭園

史跡弘田柵跡の指定地内に位置し、本家と同様に、家紋を意識した六角形の亀甲形の地割となっています。庭園は本邸庭園を造営した長岡安平翁の設計により明治末期までに造営しました。現在は市が公園として一般に開放し、紅葉の名所として親しまれています。※常時、無料で公開しています。



広報 見聞録



優秀な成績を収めた3校。(左から大曲小・大曲中・花館小)

マ 市内の3校が優秀な成績を収める マーチングバンド・バトントワーリング東北大会

10月31日、宮城県で行われた「第38回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会」にHMB花館小学校マーチングバンド部(鈴木清香隊長・隊員40人)、大曲小学校マーチングバンド部(江幡早紀隊長・隊員59人)、大曲中学校吹奏楽部(三浦紗也夏隊長・隊員100人)が出演し、花館小・大曲小が優秀賞、大曲中が金賞を受賞し、それぞれが全国大会への切符を手に入れました。

教育委員会に受賞と全国大会出場の報告に訪れた3校の代表は「たくさんの応援があり、すばらしい賞を受賞できました。」と喜びの声を聞かせてくれました。全国大会は12月12日・13日に埼玉県で行われます。



三浦憲一教育長に目録を手渡す秋田修英高校高橋昭治校長(写真右)。

東 棋士達が自慢の腕を競う 北将棋大会大仙市長杯争奪戦

11月8日「第26回東北将棋大会大仙市長杯争奪戦」と「第81回東北学生将棋大会(5日～8日)」が強首温泉「雄物川観光おも観荘」を主会場に行われました。大会は市内外の将棋愛好者や東北各県の有段者のアマ棋士など98人が参加。それぞれ熱戦を繰り広げました。

各部門の優勝者は次のとおりです。<敬称略>

【名人戦の部】鈴木勝裕(秋田市) **【一般の部A級】**濱田翔太(仙台市) **【一般の部B級】**関淳志(仙台市) **【一般の部C級】**出雲光好(大崎市) **【小学生の部】**矢萩裕大(山形県東根中部小学校3年) **【大学生の部】**▼団体戦＝東北大学▼個人戦＝工藤元(東北学院大学2年)



参加者たちはそれぞれの自慢の腕を試しました。

大 命めぐる海からのメッセージ 大曲中と大曲南中が環境教育講演会

新しい環境教育に取り組む学校として、文部科学省から指定を受けている大曲中学校(渡邊義實校長・生徒数827人)と大曲南中学校(加賀谷孔作校長・生徒数122人)が11月2日、大曲中体育館で環境教育講演会を行いました。

講師は潟上市出身で水中写真家として国内外で活躍している中村征夫さん。自身が撮影した海の生物などの写真をスクリーンに映しながら、海中の環境や生態系を説明しました。

生徒たちは地球温暖化が海に与える影響、環境問題に身近な取り組みから始めることの大切さを学びました。



スクリーンに写真を映し、海の生態系を説明する中村さん。

修 青少年の心の育成のために 英高校が市に図書を寄贈

秋田修英高校が創立50周年を記念して11月11日、大曲図書館に図書約70冊を寄贈しました。

同校は創立50周年を迎え、さまざまな記念事業を行っており、今回の寄贈はその一環。「青少年の心の育成に役立ててほしい」と、多感でさまざまな悩みを抱える時期である中学生・高校生向けの図書を贈ることを企画しました。

寄贈された本は中学生・高校生向けコーナーで閲覧できます。ぜひご覧ください。

秋の叙勲・危険業務従事者叙勲 受章おめでとうございます

市内の叙勲受章者を紹介

秋の叙勲

瑞宝小綬章



やま ぎさ とし ひこ
山崎 敏彦さん
(大曲花園町・74歳)
消防功勞
元大曲仙北広域市町村圏
組合消防正監

秋の叙勲

旭日小綬章



か とう いさお
加藤 勲さん
(大曲地域内小友・71歳)
地方自治功勞
元大仙市議會議長

地方自治や教育、消防、行政、危険業務の分野で長年にわたり貢献してきた方々をたたえる叙勲。内閣府は、平成21年秋の叙勲、第13回危険業務従事者叙勲をそれぞれ発表し（11月3日付け）、市内から10人の方が各章を受章されました。受章された方々は次のとおりです。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



いし ど しん ぞう
石戸 信三さん
(大曲飯田町・72歳)
警察功勞
元秋田県警部

秋の叙勲

瑞宝双光章



あり あけ たかし
有明 孝さん
(大曲日の出町・76歳)
教育功勞
元大曲小学校長

秋の叙勲

旭日双光章



やましだ いく お
山信田 郁夫さん
(中仙地域鍵見内・85歳)
地方教育行政功勞
元中仙町教育委員会委員長

秋の叙勲

旭日双光章



たむら いち ろう
田村 一郎さん
(西仙北地域大沢郷・76歳)
地方自治功勞
元大仙市議會議員

危険業務従事者叙勲

瑞宝单光章



しん ぞう よし お
進藤 義雄さん
(大曲緑町・63歳)
矯正業務功勞
元法務事務官

秋の叙勲

瑞宝单光章



き とう よし ち
佐藤 興市さん
(南外地域上中野・76歳)
消防功勞
元南外村消防団副団長

秋の叙勲

瑞宝单光章



き とう せい し ろう
佐藤 清四郎さん
(西仙北地域刈和野・68歳)
水位観測業務功勞
元雄物川木原田水位観測所観測員

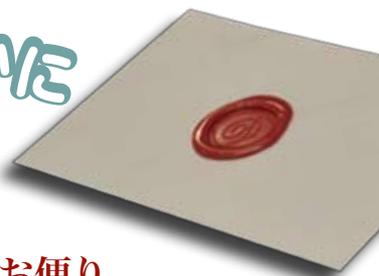
秋の叙勲

瑞宝单光章



い とう まこと
伊藤 誠さん
(南外地域松木田・75歳)
消防功勞
元南外村消防団副団長

おおきなせなかに お便り広場



11月1日・16日号へのお便り

今回寄せられたのは **27** 通

内訳 / 感想 21 意見 2 質問 1 要望 3



い よいよ寒い季節になってきました。

「まるこの広場」に、いつも子どもたちを連れて行っています。

「まるこの広場」では友達ともよく会うので子どもたちは1日中遊んでいます。もう少し遊具などがあれば、うれしいです。

(大曲地域 30歳女性)

編 集後記で趣味の話題を楽しく読みました。

私の趣味は読書・フラワーアレンジメント・ヨガ・映画鑑賞・雑貨屋巡りです。

特にヨガはリラククス効果があり、激しい運動が苦手な私は楽しくできるので、これからも続けていきたいです。

(協和地域 26歳女性)

大 仙市ころろといのちを考えると話し合ったようですが、私は自殺の原因は経済的問題が一番多いのではないかと考えます。

経済の問題は個人ではどうすることもできない場合もあるし、住民が協力し合うのにも限界があると思います。

行政側にはきちんとした経済基盤を築いてもらうようお願いしたいです。

(大曲地域 52歳男性)

学 校のみんなで稲を育てました。そのお米をつかって、今度みんなで「だまこもち」を作つて食べます。

スポ少でバスケットボールを始めてからお米をたくさん食べるようになった。

(西仙北地域 10歳女性)

だ いせん日和の中で紹介される笑顔の子どもたちは、みんないつもいい表情をしています。

健康の達人は内容がとても参考になるし、知っている先生が載っているとうれしくなります。

私は今年、夫を亡くし独りになつてしまいました。寂しくなることもありませんが、11月1日号の特集「あなたのころろ、元氣ですか」を読んで、頑張ろうと感じました。

(大曲地域 66歳女性)

1 月1日号のだいせん日和に「第2回大仙市農業元気賞」の記事が載っていました。

受賞者の中に私の知り合いがいまして驚きました。

農業者の高齢化が進む中で、若い方々がリードしていつてくれることはうれしいことです。

(中仙地域 26歳女性)

だ いせん日和には各地域のイベントなどたくさん情報載っています。

ヘルスメイトさんのレシピを読んで料理のレパートリーを増やしています。

だんだん寒くなってきました。みなさんも体調をくずさないよう、寒い冬を乗り切つていきましよう。

(仙北地域 32歳女性)

大 仙市に引越して来て、一人暮らし生活も1カ月を過ぎました。

まだ大仙市のことがよく分からないので、「だいせん日和」を興味津々で読んでいます。

(大曲地域 33歳男性)

大 仙の逸品で紹介されていた「お米のさわた」さんのプレゼントに目が惹かれました。

20年ほど前、私が大曲通町の喫茶店に勤めていた時、「お米のさわた」さんからお米を仕入れていました。「お米のマイスター」になり、今も頑張つて大仙の「商品づくり」をしていることに感心させられました。

大仙の逸品のコーナーではこういった地域で頑張っているお店やいろいろな会が紹介され、とても良い発見ができます。

(協和地域 50歳女性)

私 は天気の良い日は健康のために散歩をしています。

道端にたばこの吸殻や空き缶のポイ捨てが多いことに驚いています。マナーを守つてほしいです。

また公共施設の周りにもごみが多く捨てられているのが目につきます。公の場所なので気をつけてもらいたいです。

(協和地域 66歳男性)

1 月1日号の表紙、園児が先生に抱き上げられて見事なリンゴをもごうとしていました。きつとうれしかったです。

私のうちでは鳥よけや猫よけに空のペットボトルを使つてみました。意外と効果がありました。今は資源ごみに出すため整理中です。

冬になる前の家の周りの仕事が終わつたら、ヘルスメイトさんのレシピで紹介していた「しそ入りジャガイモのゆべし風」にチャレンジしてみたいと思います。

(大曲地域 81歳女性)

私 は主婦なので、だいせん日和で「食」についての記事が載っていると特に目に入ります。

私は地産地消には大賛成です。スーパーに行つてもやはり地元で採れた野菜を選びます。

ただもつと、地元の野菜などを身近で購入できたら助かります。

(大曲地域 33歳女性)

地域の「耳」寄り情報

大川西根小学校 パイプオルガンコンサート

クリスマスにちなんだ曲の演奏や歌、朗読など心あたたまるハーモニーをお楽しみください。



- ◆日時／12月5日(土)
午後1時開場(1時30分開演)
- ◆会場／大川西根小学校音楽室
- ◆演奏／秋田オルガンかわら版の会

【問い合わせ】

大川西根小学校 ☎ 0187-68-3030 まで

大仙市混声合唱団 第34回定期演奏会

組曲「富士山」をはじめ「手紙」「大仙市賛歌」などを心のこもった演奏でお届けします。

- ◆日時／12月13日(日)
午後1時30分開場(午後2時開演)
- ◆会場／大曲市民会館・小ホール
- ◆入場料／300円

【問い合わせ】

大仙市混声合唱団事務局 渡辺さん
☎ 0187-62-4948 まで

クリスマスの夜を彩る 2009「クリスマス花火」

花火通り商店街による2009「クリスマス花火」を行います。

今年は昨年までとは趣向を変えてクリスマスの夜をたくさんのお花火で演出します。

- ◆日時／12月23日(水) 午後6時～6時30分
- ◆会場／丸子橋橋上公園

【問い合わせ】

和装はきもの・小物 加藤さん
☎ 0187-62-4391 まで



大曲武道館に架かる虹

立冬も過ぎ、寒さが増して来た11月23日の夕方。午前中から降り続いた雨が止み、虹が架かりました。大曲武道館に架かった虹はきれいな放物線を描き、夕暮れを飾りました。



だ いせん日和では市で頑張る方の様子や催しの内容を知る情報が得ることができとても助かっています。
(中仙地域 28歳女性)

今 年も早いもので残りわずかとなりまりました。年を取ると一年が早く感じます。
1日1日を楽しみながら大事に生きたいと思います。
(大曲地域 54歳男性)

娘 と一緒に遊びに出かけました。小さなことでも身近な情報を知ることができうれしく思います。
(大曲地域 32歳女性)

全 県500歳野球は今年から市内の各野球場で開催され、全市の大きなイベントになりました。
主会場となる神岡は少年野球発祥の地でもあります。これからは野球の神岡の地元として、しっかりと応援していきたいと思っています。
(神岡地域 67歳男性)

各 地域での産業祭りも終わり、農家の方々は休養をとれるころかと思えます。
買い物に行くとき農産物が以前より安く購入できるようになっています。農家の方々の苦労を考えると「いいのかな」と思いつつ、消費者としてはうれしいのが正直なところですね。
(大曲地域 44歳女性)

広 報を読み、それぞれ地域での取り組みや季節性のある行事などがたくさんあることを知りました。
市で行われるイベントになかなか参加できていない私ですが、広報の写真だったり言葉の一つ一つからさまざまなことが伝わり、今の大仙市の景色が見えたように感じています。
健康の達人では自分の体が心配なだけに、気が付くと熟読していました。読んだことをきっかけに生活習慣を改善しようと思えます。また、来年生まれてくる子どものために健康には気を配っていきたいものです。
若い芽が安心して成長していただける大仙市であってほしいです。
(中仙地域 27歳男性)

お便りお待ちしております

「お便り広場」はみなさんのページです。市政に対する質問・意見など、みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。

あて先はこちらまで

〒014-8601 (住所不要) 大仙市企画部総合政策課
手紙・ハガキ、FAX (0187-63-1119)
またはEメール (kouhou@city.daisen.akita.jp) で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。



今年夏ごろ「もしも秋田が人口1000人の村だったら」という新聞記事を読んだ方はいますか。全国の出生率が28年間連続で減少し、秋田でも少子化が進み、子どもが占める割合は全国最低の11・5%でした。経済の低迷もあり、秋田では1年間に1人死んで1人生まれ、1人転入し2人外へ出ていく計算です。よって10年後には90人の村民しか残らない事になります。

婚 活が流行っていますが、結婚する機会に未妊の検査を始める方もいます。しかし、あまりあせるのも禁物。何の原因もない健康な夫婦が排卵日を狙っても妊娠率は10〜20%前後と言われているからです。つまりほとんどの人は赤ちゃんが出来るのに数カ月はかかるわけです。ところが最近では現代病と言われる子宮内膜症や性感症と精子減少症例が増加し、受精妊娠できない方も増加中です。診療所ではさまざまな原因を探り赤ちゃんが家庭に授かるように検査や指導をしています。

原 因が卵管の場合、子宮内膜症やクラミジア感染などにより卵管が閉塞し、排卵された卵子と精子が巡り合えません。子宮卵管造影法で通過障害を診断します。排卵障害が原因の場合、卵巣機能不全や多嚢胞性卵巣症候群があります。ホルモン値を診て適切なホルモンを補充します。

受精しても卵が着床しない着床障害の方もいます。子宮内の異常で子宮筋腫や子宮内膜ポリープも着床の妨げになります。黄体ホルモンの補充が重要です。来院時に持参してほしいのが婦人体温計による基礎体温表です。安価で、他の検



大曲仙北医師会

大曲母子医院
佐藤 学 医師

大仙市大曲福住町8-18
☎ 0187-63-2288

日 本男子は平均精子数が減少してきています。検査は時期を選びません。男性側に原因が判明した場合には漢方薬（八味地黄丸、補中益気湯など）を内服して改善する治療もあります。精子の受精能を補助する方法として人工授精があり、さらに重度の精子異常の場合には顕微授精という高度生殖医療に進みます。女性の子宮の入り口の頸管粘液に原因

査を行う時期の指標になり有効です。女性ホルモンのバランスを診る採血や排卵期の超音波をする時、フナーテストや高温期の採血の際は時期を指定できます。月経中の検査として貧血・抗精子抗体・月経血培養検査等があります。女性側に原因が見つかっても通常は排卵の前後に来院し、夫婦生活を図るタイミング療法が一般的です。

がある場合にも人工授精が必要になります。人工授精とは洗浄した運動精子を子宮内へ届ける方法です。卵管閉塞や原因不明の場合には体外受精が選ばれます。これは卵子と精子を体外で培養液中に受精させた受精卵を子宮内へ入れる方法です。

逆 に嗜好品（タバコや晩酌）を変えるなど、生活を規則的にするだけでホルモン状態が良くなる方もいます。食はずすぎや過剰なダイエットを止めると妊娠する方もいます。漢方薬が効く方も多いためです。冷え、ストレス、太りぎみ等があれば診療所へ相談にいらしてください。やはり精神的な負担も妊娠力に大きく影響します。あと、少し肩と心の力を抜いて、ひと昔前の秋田県の交通標語「ゆとりで走ろう秋田県をモットーにすると、案外早く赤ちゃんに巡り合えたりします。

～ゆとりの心が生殖も助く～

生殖説法

Talk about a sermon of reproduction



Medical Chart no. 30

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of Fertility

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/>

健康通信

【問い合わせ】

健康増進センター ☎ 0187-62-9301

健康増進センター各分室

大曲分室 ☎ 0187-62-1015

協和分室 ☎ 018-892-2003

神岡分室 ☎ 0187-72-4606

南外分室 ☎ 0187-74-3007

西仙北分室 ☎ 0187-75-0476

仙北分室 ☎ 0187-69-3800

中仙分室 ☎ 0187-56-7211

太田分室 ☎ 0187-88-1313

新型インフルエンザワクチン接種について

優先度の高い方から接種を行っています

新型インフルエンザワクチン接種について優先度の高い、妊婦、基礎疾患のある方について接種を開始しています。(1歳～小学3年生は12月上旬から開始)

この他の優先度の高い方々については日程が決まり次第、広報や学校をとおして接種予約・接種開始日をお知らせします。(ワクチンの供給量によっては接種開始日が前倒しになることがあります)

◆今後優先的に接種が始まる方々／

1歳未満児の保護者、小学4年～6年生、中学生、高校生に相当する年齢の方々、65歳以上の方

※1歳未満児の保護者については、事情により保護者(親)が接種を受けられない場合により住民票上同一世帯の祖父母等を含みます。その場合、住民票等、1歳未満児と同一世帯であることを証明できる書類が必要です。

※高校生に相当する年齢の方は平成3年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方が該当します。

未就園児の保護者の方へ

新型インフルエンザの流行が低年齢層で増加傾向にあります。ワクチン接種では満1歳から小学3年生までの対象者を早期に接種することで、感染拡大の防止を図ります。

ワクチン接種は医療機関での個別接種で行いますので、接種を希望される保護者の方は、小児受け入れ医療機関(表参照)へ電話で予約をしてください。(予約受け付け中)

ワクチンの接種には、発症や死亡を抑える効果が期待できますが、接種後、アレルギー反応や、まれに重篤な症状を引き起こす可能性もあります。この点を理解した上、保護者の判断で接種をお願いします。

◆対象／満1歳児から小学校3年生まで(満1歳は、接種時に1歳になっていることが、基準になります。医療機関とご相談ください)

◆接種回数／2回(2回目の接種については医療機関から指導を受けてください)

◆接種費用／無料(市が全額負担)

◆持参するもの／母子手帳と保険証



CHECK

新型インフルエンザにすでに感染した方は、免疫が獲得されたため、ワクチン接種の必要はないと考えられます。

また、今年の夏以降、A型と診断された方の大部分は、新型インフルエンザに感染した可能性が高いと考えられます。すでにA型インフルエンザに感染したと思われる方は、医師と相談の上、接種の有無について判断してください。

なお、市外の医療機関で接種を希望する場合、大仙市の予診票が必要となります。予診票は、健康増進センター各分室に準備していますので、お越しください。

表 小児受け入れ医療機関一覧

| 医療機関 | 電話番号 | 対象 |
|--------------|----------------|-------|
| 荒川医院 | ☎ 0187-86-5080 | |
| 池田医院 | ☎ 0187-63-3338 | |
| 伊藤内科医院 | ☎ 0187-65-3200 | |
| 小山田医院 | ☎ 0187-63-1133 | |
| 大曲母子医院 | ☎ 0187-63-2288 | |
| 大曲みなみクリニック | ☎ 0187-86-3250 | 小中学生 |
| 木村内科医院 | ☎ 0187-63-2070 | |
| 後藤内科医院 | ☎ 0187-62-1113 | |
| 佐々木内科医院 | ☎ 0187-63-1410 | 3歳以上 |
| 大山 | | |
| 下山胃腸科内科医院 | ☎ 0187-63-5110 | |
| 白鳥耳鼻咽喉科医院 | ☎ 0187-66-3387 | |
| 仙北組合総合病院 | ☎ 0187-63-2111 | 未就学児 |
| 高階医院 | ☎ 0187-66-1411 | |
| 高津内科医院 | ☎ 0187-86-0388 | |
| たかはし内科循環器科医院 | ☎ 0187-63-5115 | |
| 中島内科医院 | ☎ 0187-63-2211 | 小学生以上 |
| 仲村内科胃腸科医院 | ☎ 0187-63-2225 | |

| 医療機関 | 電話番号 | 対象 |
|-------------|----------------|-----------|
| 大曲 | | |
| 花園病院 | ☎ 0187-63-3100 | |
| 山下医院 | ☎ 0187-63-3328 | |
| 吉方内科医院 | ☎ 0187-86-0800 | |
| 吉村クリニック | ☎ 0187-86-0566 | |
| 西仙北 | | |
| 佐藤医院 | ☎ 0187-75-1000 | 1歳10カ月児以上 |
| 黒澤医院 | ☎ 0187-75-0368 | |
| 生和堂医院 | ☎ 0187-75-0318 | |
| 藤本医院 | ☎ 0187-75-2221 | |
| 中仙 | | |
| 石井内科胃腸科医院 | ☎ 0187-56-7300 | |
| 滑川医院 | ☎ 0187-56-3121 | 6歳以上 |
| 協和 | | |
| 佐藤内科クリニック | ☎ 018-895-2730 | |
| 豊島医院 | ☎ 018-892-2211 | |
| 仙北 | | |
| 柳田医院 | ☎ 0187-69-2101 | |
| 太田 | | |
| 太田国民健康保険診療所 | ☎ 0187-88-2233 | |
| 神岡 | | |
| 神岡診療所 | ☎ 0187-72-3001 | 小学生以上 |
| 南外 | | |
| 伊藤医院 | ☎ 0187-74-2211 | |

対象は小学6年生 二種混合未接種者追加予防接種

小学6年生が対象の破傷風・ジフテリアの二種混合の予防接種の追加接種を実施します。体調を整えてから受診してください。医療機関には事前に予約をし、予診票を持参の上、受診してください。※予診票は健康増進センター各分室に準備しています。

◆期日／12月12日(土)・19日(土)

◆接種費用／無料

実施協力医療機関

| 医療機関 | 診療時間 | 予約電話 |
|-------------|---------------------------|-------------------------------|
| 小山田医院(大曲) | 8:30～12:00 | ☎ 0187-63-1133 |
| 吉村クリニック(大曲) | 8:00～14:30 | ☎ 0187-86-0566 |
| 生和堂医院(西仙北) | 8:30～12:00 | ☎ 0187-75-0318 |
| 豊島医院(協和) | 8:30～12:00 | ☎ 018-892-2211 (3日前まで電話予約) |
| 柳田医院(仙北) | 8:00～11:00 13:30～15:00 | ☎ 0187-69-2101 |

●大曲図書館のおすすめ

頭がいい子の生活習慣 なぜ秋田の学力は全国トップなのか？

阿部 昇／著（ソフトバンククリエイティブ）



この本は、秋田大学教育文化学部教授である著者が、教育現場と地域の事情に精通した独自の視点で、特に生活習慣に焦点を当て分析したものです。規則正しい生活、家族の会話、あいさつなど、ごく当たり前のことが、知識・技能だけでなく、それを使いこなすという「バランスがよい」能力を育むということを具体的なアドバイスと共に解説しています。

中でも、図書館が目にするところは、読書の習慣です。読書や読み聞かせが親子のコミュニケーションに大いに力を発揮します。子育てにおいて「読み聞かせは心の栄養」と、これまでも言われてきたことですが、こうした親子の関わりにより、図書館がみなさんに欠かせない存在になることを願っています。（大曲、神岡、中仙、協和図書館 所蔵あり）

12月の新着図書

ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。希望する本がないときは、図書館職員へ声をかけてください。市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

小説

- レモンタルト／長野まゆみ
- 山崎豊子自作を語る 1／山崎豊子
- カデナ／池澤夏樹
- 聖徳太子の密使／平岩弓枝
- いかずち切り／山本一力
- Q人生って？／よしもとばなな
- ほかならぬ人へ／白石一文
- 製鉄天使／桜庭一樹
- アンジェリク／藤本ひとみ
- 殴る女／荻野アンナ
- わたしの蜻蛉日記／瀬戸内寂聴
- 小太郎の左腕／和田竜
- 甘苦上海 4／高樹のぶ子
- ファミリーツリー／小川糸

幼児・児童向け図書

- ハープガーデン／草野たき
- なんてすてきな日／アンドレ・ダーハン
- リキシャ★ガール／ミタリ・パークンス
- ソラン・ドヴェンカー
- 帰ってきた半ズボン隊 上・下
- とっておきの詩／村上しいこ
- すみ鬼にげた／岩城範枝

■各図書館イベント／

【おはなし会】

- 大曲 12月19日（土）午後2時～（クリスマスおはなし会）
- 神岡 12月19日（土）午前11時～
- 西仙北 12月26日（土）午前10時～11時
- 協和 12月12日（土）午前9時30分～（クリスマススペシャル）
- 仙北 12月12日・26日（土）午前10時30分～

【どんぐり文庫 おはなし会】（おはなしの他にむかしの遊びもあります）

- 太田（敬愛館）12月26日（土）午前9時30分～午後3時

■企画展／

大曲養護学校出張学校展「見に来てたんせおらほの学校」

期間／12月2日（水）から25日（日）まで

時間／午前9時～午後7時

会場／大曲図書館展示室

各図書館問い合わせ

| | | | |
|--------|---------------|-------|---------------|
| 大曲図書館 | ☎0187-62-1012 | 南外図書館 | ☎0187-74-2130 |
| 神岡図書館 | ☎0187-72-2501 | 仙北図書館 | ☎0187-69-3334 |
| 西仙北図書館 | ☎0187-75-0099 | 太田図書館 | ☎0187-88-1119 |
| 協和図書館 | ☎018-892-3830 | 中仙図書館 | ☎0187-56-7200 |

12月の市長日程

※日程は変更になる場合があります。

| | |
|-------|--|
| 2日・水 | 市長面会日（仙北地域） |
| 3日・木 | 大曲駅前第二地区土地区画整理審議会 大仙美郷介護福祉組合管理者会議 |
| 4日・金 | 第4回市議会定例会（初日） |
| 7日・月 | 定例記者会見 全国花火競技大会大会委員会 小規模集落コミュニティ対策会議最終提言 |
| 14日・月 | 第4回市議会定例会（2日目） |
| 15日・火 | 第4回市議会定例会（3日目） |
| 17日・木 | 花館財産区議会 |
| 22日・火 | 第4回市議会定例会（4日目） |
| 25日・金 | 大仙美郷介護福祉組合議会 |
| 26日・土 | 協和スキー場リニューアルオープン |
| 28日・月 | 仕事納めの式 |

市長交際費

（10月1日～31日）

| 摘要 | 件数 | 金額 |
|----|----|----------|
| 弔慰 | 6 | 90,000円 |
| 慶祝 | 32 | 171,955円 |
| 協賛 | 7 | 369,242円 |
| 合計 | 45 | 631,197円 |



①大曲上水道通水50周年記念の植樹。②大仙市農業元気賞授賞式での挨拶。③高次都市施設交流センターの工事安全祈願祭。

いきいき ＊広場

【問い合わせ】地域包括支援センター

中央 (大曲庁舎内)

担当地域/大曲

☎0187-63-1111(代表)

東部 (中仙庁舎内)

担当地域/中仙・太田・仙北

☎0187-56-7125

西部 (西仙北庁舎内)

担当地域/西仙北・神岡・協和・南外

☎0187-87-3970

高齢者の権利を守る

尊厳を持ち暮らししていくために

高齢者虐待を防ぎまじょう

高齢者虐待は高齢者の尊厳をおかす深刻な問題です。特定の人や家庭で起こるものではなく、どこの家庭でも起こりうる身近な問題です。

虐待は暴力だけではなくあります

「高齢者虐待」とは家族・親族など高齢者と何らかの人間関係にある者によって加えられた行為で、高齢者の心身に深い傷を負わせ、高齢者の人権を侵害する行為のことです。

高齢者虐待は、殴る、つねるなどの暴力行為や侮辱するなどの行為だけではなく、病院に行かせなかったり食事を準備しない、無視するといった、介護や世話の放棄・放任など高齢者を衰弱させるような著しい行為や、不動産や預金、年金等を取り上げたりすることも虐待にあたります。

このような不適切な行為

memo

不適切な対応例

- 言うことを聞かないので、たたいたり、つねったりしている。
- 悪いことばかりするので、たたいてしつけをしている。
- 話しかけられているのに気づいていても無視している。
- 意味もなく出歩くので、部屋に閉じこめている。
- 年金手帳、預貯金などを管理し、本人に無断で遣っている。
- 医療費がかかるので、病院に連れて行かないでいる。
- 人前でおむつ交換をしたり、裸のままにしておくことがある。

でも、している本人にとっては何気ない行為だったり、よかれと思ってしたことだったりと自覚がない場合もあります。

高齢者の介護や世話で、虐待があると考えられるうちの半数以上の人が自覚がないという調査結果も出ています。

独りで悩まず相談してください

高齢者虐待はさまざまなことが原因で起こります。原因の一つに「介護者の心身の疲労」があります。

高齢者の在宅介護が長期にわたった場合、介護をする側に身体的にも精神的にも負担がかかり、家族だけで支えるには限界があります。介護にはさまざまな制度や介護保険サービスが手助けとなります。上手に利用しましょう。

困ったときや悩んだ時は、ひとりで抱え込まず、地域包括支援センターにご相談ください。

介護保険事務所からのお知らせ 居宅介護福祉用具の購入費が支給されます

居宅で介護を受けている方が、特定福祉用具（介護保険で対象となる5品目）を購入したとき、申請により購入費用の9割分を介護保険から給付します。

申請にあたって、申請書、領収書及び購入した福祉用具のパフレット（写しでも可）が必要となります。申請の受付は、介護保険事務所のほか、市役所（各支所を含む）の介護保険担当窓口でも行っています。

なお、都道府県により販売事業者が指定されています。指定を受けていない事業者から購入した場合は給付の対象とはなりませんので、注意してください。指定事業者については、介護保険事務所に問い合わせるか、直接販売店に確認してください。

■対象/要介護認定・要支援認定を受けている方（施設入所者は除く）

■特定福祉用具/

腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽、移動用リフトのつり具の部分

※ 限度額は年度あたり10万円までです。同一年度内に同一種目の特定福祉用具を2つ以上購入することはできません。

問い合わせ
大曲仙北広域市町村圏組合
介護保険事務所保険指導班
☎0187-86-3911 まで
FAX 0187-86-3914
<http://www.oskaigonet.or.jp/>

【知って、得する 地域情報】

DAISEN



煌めく旋律奏でよStarたち!!
チケット好評発売中
第22回大仙市大曲新人音楽
祭コンクール

予選

期日/1月9日(土)

会場/大曲市民会館大ホール

【ピアノ部門】 正午～

【音楽部門】 午後4時～

会場/大曲市民会館小ホール

【弦・管・打楽器部門】 正午～

※予選は出場者数により、時間が変更になる場合があります。

本選

期日/1月10日(日)

会場/大曲市民会館大ホール

【本選】 午後0時30分～

【特別出演】 午後4時30分ごろ

※前回グランプリ柳生和夫さん(チューブ)

入場料(全席自由・両日券) /

【一般】 500円

【高校生以下】 300円

■チケット販売所/榊田楽器店

タカヤナギイーストモール、美

音社本店、大曲市民会館、中仙

市民会館、協和市民センター、

仙北ふれあい文化センター

※コンクール当日は託児サービスもあ

ります。利用を希望される方は12

月15日(火)まで申し込みください。

【問い合わせ・託児申し込み】

大曲市民会館(月曜休館)

☎0187(63)8766まで

大曲

みんな遊びにおいて はなだて広場

地域の方々と一緒に子育てを楽しみましょう。

■対象/花館地区の就園前の乳幼児とその家族

■日時/12月24日(木)
午前10時～11時30分

■会場/花館公民館

【問い合わせ】

主任児童委員 佐藤久美子さん

☎0187-63-2013まで

大曲

大曲スキースポーツ少年団

■対象/大曲地域の小学生

■期日/12月23日(水)、1月3日から2月28日までの毎週日曜日

■会場/大曲ファミリースキー場

■定員/先着50人

■参加費/7,000円

■申込受付期限/12月16日(水)

【問い合わせ・申し込み】

大曲スキースポーツ少年団 高橋さん

☎0187-62-4985まで



太田

たんぽぽ広場 クリスマス会

就園前の子どもとその家族を対象としたクリスマス会です。

■対象/6歳までの未就園の子どもとその家族

■日時/
12月10日(木)
午前9時30分～

■会場/敬愛館(現地集合)

■申込受付期限/12月8日(火)

【問い合わせ・申し込み】

おおた子育て支援センター

☎0187-88-9110まで



大曲

産業展示館作品展

【クリスマスをテーマとした作品展】

期間/12月10日(木)から25日(金)まで(月曜休み)

※12月12日(土)の午前10時から午後3時までリース作り体験コーナーがあります(材料費800円)

【しのはら美工芸の彫刻絵展】

期間/12月13日(日)まで(月曜休み)

■時間/午前9時～午後4時

■会場/産業展示館

【問い合わせ】

女性センター

☎0187-62-1713まで

中仙

ふるさと芸能友の会 歌と踊りのチャリティーショー

■期日/12月13日(日)

■時間/午前10時30分開演

■会場/中仙市民会館ドンパル

■入場料/前売券1,000円、当日券1,300円

【問い合わせ】

ふるさと芸能友の会 佐々木さん

☎0187-56-3461まで

中仙

ドンパン踊り練習

初心者の方も大歓迎です。

■日時/12月15日(火)

午後7時30分～(毎月第3火曜日)

■会場/中仙農村環境改善センター(中仙庁舎隣り)

【問い合わせ】

中仙観光協会

☎0187-56-2337まで

太田

みんなで歌おう in おおた

童謡や叙情歌などを楽しく歌う会です。お気軽にお越しください。

■日時/12月5日(土)

午後0時30分開演

■会場/太田文化プラザ

■参加費/300円(お茶代含む)

【問い合わせ】

太田公民館☎0187-88-1119まで

お知らせ

Information

秋田第一地方合同庁舎内に移転 仙台入国管理局秋田出張所

仙台入国管理局秋田出張所が12月7日から秋田第一地方合同庁舎5階に移転になります。在留資格審査などでお越しの際はご注意ください。

業務開始期日/12月7日(月)

受付時間/午前9時～正午、午後1時～4時(土・日、祝日を除く)

【問い合わせ】

仙台入国管理局秋田出張所

☎018-895-5221まで

秋田市山王7-1-3秋田第一地方合同庁舎5階(移転後)

独りで悩まず相談ください 人権・行政に関する無料悩み相談

◆期日・会場/

【12月4日(金)】ペアレ大仙、中仙農村環境改善センター、南外公民館、仙北就業改善センター

【12月5日(土)】神岡福祉センター、協和市民センター(和ピア)

【12月6日(日)】西仙北中央公民館

【12月7日(月)】太田文化プラザ

◆時間/午前10時～午後3時

【問い合わせ】

各総合支所市民課

本庁市民課☎0187-63-1111(代表)まで

大曲の花火100周年をアピール あきたふるさと手作りCM大賞2009

当市では「あきたふるさと手作りCM大賞2009」に参加しました。「大曲の花火」100周年をテーマにした作品です。次の日程で放送されますので、ぜひご覧ください。

◆放送日時/12月7日(月)

午後6時40分～(出演順番は14組目)

◆放送局/AAB秋田朝日放送



来年1月1日からスタート 日本年金機構

社会保険庁が廃止され、平成22年1月1日から新たに「日本年金機構」がスタートします。国民の信頼に応え、一層のサービス向上を実現するため、組織・人員を一新生まれ変わります。

大曲社会保険事務所は、新たに「大曲年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。

【問い合わせ】

大曲社会保険事務所

☎0187-63-2299まで

司法書士総合相談センター大曲 無料相談会

不動産・会社・法人の登記、多重債務、成年後見などについての相談会です。

◆期日/12月21日(月)・1月27日(水)・2月24日(水)

◆時間/午後6時～8時30分

◆会場/サンクレスト大曲

◆定員/各日先着6人

◆申し込み方法/事前に電話で予約

☎018-824-0055(予約専用)

【問い合わせ】

秋田県司法書士会☎018-824-0187まで

大曲小学校PTA教育講演会 夢講座!舞の海in大曲小学校

元小結で現在はスポーツキャスターとして活躍している舞の海秀平さんを招いて「可能性への挑戦」と題した講演会を行います。(当日は託児サービスも行っています)



◆日時/12月8日(火)午後2時10分～4時(午後1時45分受け付け開始)

◆会場/大曲小学校体育館

◆定員/300人

◆申し込み方法/PTA会員以外の一般の方は12月7日(月)まで電話で申し込み

【問い合わせ・申し込み】

大曲小学校PTA事務局(大曲小内)

☎0187-63-1018まで

購入資格/大仙市民
商品券額面/1枚1000円
セット内容/一般店専用券6枚と共通券5枚の11枚つづり(1万1000円相当)で1セット
販売数/1セット1万円円で2万セット販売
購入限度額/1人5セット(5万円)まで購入可能。
※予約や代理購入はできません
販売開始日/12月12日(土)
販売時間/午前9時～午後4時
販売会場/大曲商工会議所
大仙市商工会各支所、市役所大曲庁舎市民ホール、ペアレ大仙
利用期限/平成22年2月28日(日)

問い合わせ
大曲商工会議所 ☎0187(62)1262
大仙市商工会本所 ☎0187(75)1041
大仙市商工会西仙北支所 ☎0187(75)1021
大仙市商工会協和支所 ☎018(8062)3333
大仙市商工会中仙支所 ☎0187(56)2021
大仙市商工会太田支所 ☎0187(88)1633
大仙市商工会神岡支所 ☎0187(72)4028
大仙市商工会南外支所 ☎0187(74)2615
大仙市商工会仙北支所 ☎0187(63)4172
市商業労政課 ☎0187(63)1111
内線252・257まで

12月12日から販売開始
販売額2億円「大仙市商品券」

大仙市商品券事業協議会では、市内のさらなる消費拡大を図るため、年末年始商戦に向けて、大仙市商品券を新たに販売します。ぜひ、ご利用ください。

1セット11枚のうち、
一般店専用券6枚(写真上)
一般店・大型店共通券5枚(写真下)

※利用可能店は販売開始前に新聞折込みチラシでお知らせします。

編集後記

▼今年も参加しました、秋田朝日放送主催の「あきたふるさと手作りCM大賞2009」。昨年はドンパン祭りを題材にした作品で特別賞を受賞することができました▼CMは4人の審査員の採点によって順位が決まります。最優秀作品に選ばれた作品(市町村)には、仙台で行われる東北大会の出場権のほか、東北各県合わせて年間365回のCM放映権がもらえます。入賞しなくても参加賞として年間20回のCM放映権がもらえるため、テレビを利用してまちをアピールする絶好の機会。参加しない手はありません▼今年も昨年同様、社会人のIさん(太田地域)と大学院生のKさん(同地域)からお手伝いをいただきCMを制作。今年も過去最多となる19市町村が参加し自分たちのまちをアピールしました。どの作品も力作ばかり、趣向を凝らした見せ方や編集には毎回驚かされます▼そんな見応え十分なCM大賞の放送日は、12月7日(月)午後6時40分から。思わずうなってしまうような各市町村のふるさと自慢を、みなさんぜひご覧ください。(朋)

| 人口と世帯数 | | 10/31現在 |
|--------|----------|-----------|
| | | ※()内は前月比 |
| 人口 | 91,752人 | (-47) |
| 男 | 43,303人 | (-37) |
| 女 | 48,449人 | (-10) |
| 世帯数 | 30,751世帯 | (+16) |
| 内人口増減 | 出生 | 53人 |
| | 死亡 | 98人 |
| | 転入 | 100人 |
| | 転出 | 102人 |

だいせん日和

編集発行
大仙市役所
企画部総合政策課広報班
〒014-8601
秋田県大仙市大曲花園町1番1号
☎0187-63-1111(代表)

発行日
毎月2回(1日・16日)

印刷
株式会社 三森印刷

PRINTED WITH SOYINK 大豆油インキを使用しています。

Course 講習

ペアーレ大仙無料体験講座 ハワイアン・フラダンス

本場のハワイアン・フラダンスを体験してみませんか。(本講座は平成22年1月から開講予定)

- ◆日時/12月17日(木)
午後6時30分～8時
- ◆会場/ペアーレ大仙
- ◆定員/先着20人
- ◆持参するもの/動きやすい服装、タオル

【問い合わせ・申し込み】

ペアーレ大仙 ☎0187-63-8600まで

クリスマス飾りを作ろう クリスマスフラワーアレンジ講習

親子や家族でクリスマスツリーなどクリスマス飾りを作ってみませんか。

- ◆日時/12月9日(水)
午後6時～7時30分
- ◆会場/大曲交流センター
- ◆参加費/無料(材料代2000円)

【問い合わせ・申し込み】

フラワーデザイン普及協会
栗林さん ☎090-2270-6644まで

Invitation 募集

実行委員を募集します WRO Japan 2010秋田県大会

2010年7月に大仙市で行われる「WRO Japan 2010秋田県大会(中学生ロボットコンテスト)」の企画・運営をするボランティアスタッフを募集します。

- ◆申し込み方法/①住所②氏名③年齢④電話番号⑤応募理由(200字程度) —を明記の上、はがきかファクスで申し込み

【問い合わせ・申し込み】

WRO Japan 2010秋田県大会準備事務局(フジフロンティア内)
☎0187-62-2172まで
FAX0187-62-3181
〒014-0047
大仙市大曲須和町1丁目1-17

お知らせ Information

産地直送お届けします 西仙北ふるさとの味宅配便

野菜や米など西仙北でとれたふるさとの味をセットにしてお届けします。

■料金/4,000円(消費税・送料込み)
※米なしの場合は3,700円

■申込受付期限/12月11日(金)

■発送予定日/12月21日(月) ※予定

【問い合わせ・申し込み】

西仙北ふるさと味の会 田口さん

☎0187-75-1826まで

Events イベント

環境問題を考える 映画「ツバル」上映&講演会

映画と講演会をとおして、環境問題・地球温暖化について理解を深めてみませんか。

◆日時/12月12日(土)

午後1時～3時30分

◆会場/大曲交流センター

◆定員/先着50人

◆参加費/無料

【問い合わせ・申し込み】

あきたエコマイスター県南協議会
照井さん ☎090-4314-3284まで

講座発表・作品展示会 ペアーレ大仙フェア2009

ペアーレ大仙の各講座の発表会・作品展示を行います。舞台発表、作品展示どちらも入場無料です。普段の成果をぜひご覧ください。

【舞台発表】

◆日時/12月6日(日)

午前10時～午後3時

◆会場/大曲市民会館・大ホール

【作品展示】

◆期日/12月5日(土)・6日(日)

◆時間/午前10時～午後4時

◆会場/大曲交流センター

【問い合わせ】

ペアーレ大仙

☎0187-63-8600まで

ヘルスメイトさんのレシピ
健康はバランスよい食事から



食生活改善推進協議会
仙北支部



「愛しのさつまいも」

1人分…エネルギー 210kcal、塩分 0.2g

材料(2人分)

蒸したサツマイモ…………… 1/2本
市販の甘栗…………… 適量
アーモンド…………… 適量
カシューナッツ…………… 適量
蜂蜜…………… 小さじ1
無塩バター…………… 小さじ1

作り方

①アルミホイルを舟形にし、アーモンド・カシューナッツ・サツマイモを並べる。
②①をトースター(500W)で5分焼く。
③熱いうちに蜂蜜と無塩バターをからめる。

「愛しのさつまいも」のポイント

サツマイモは蒸したものを使うことで調理の時間を短縮できます。食べやすい大きさに斜め切りしてください。ほくほくのサツマイモと香ばしいナッツをバター蜂蜜風味どうぞ。子どものおやつに最適です。

「ツナとニンジンのそぼろ」

1人分…エネルギー 78kcal、塩分 0.7g

材料(4人分)

ツナ缶…………… 小1缶
ニンジン…………… 100g
砂糖…………… 大さじ1弱
醤油…………… 大さじ1弱
酒…………… 大さじ1弱

作り方

①ニンジンの皮をむきすりおろす。
②鍋にツナ缶の油を少々入れ、①を炒める
③②に油を切ったツナを加えほぐしながら炒める。
④③にAを加え、水分がなくなるまで炒める。

「ツナとニンジンのそぼろ」のポイント

ニンジンの匂いが気にならないのでニンジン嫌いの子どもにも大丈夫。香付けに白ゴマを加えても。水分をほどほどにすれば、しっとりふりかけ。刻み海苔を加えて箸休めに。ご飯にまぶせば彩り良く子どもも喜ぶ。おにぎりの具にも最適です。

大仙の逸品



秋田のもちはだ美人 (1袋10個入り)
メーカー希望価格/500円

【問い合わせ】
仙北こまちの会 ☎ 0187-56-7025
大仙市北長野谷地中 170-1

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢と必ず広報紙の感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

読者

プレゼント

締め切り日 12月31日(木) 消印有効

— お便り送って商品ゲット —

絹のようなのどごしが大人気の切り餅

100%大仙産の自慢のもち米を使用
「秋田のもちはだ美人」

餅にして食べるとコシがあり、絹のような滑らかなのど越しが評判の秋田産んだもち米「きぬのはだ」。大仙産の「きぬのはだ」を100%使用した切り餅「秋田のもちはだ美人」を10人にプレゼントします。

大仙市を中心に農産物の契約栽培や販売を行っている産地生産者グループ「仙北こまちの会」(渡辺銀三代表)。同会では全国の餅業界から高い評価を得ているこのもち米をいつでも手軽に食べることができるよう、切り餅を1年間保存可能なシングルパックにしました。保存料・添加物は一切使用せず、完全な無菌ルームで製造されています。

産地・生産者にもこだわり、中仙地域清水地区の玉井恭一さんが育てたもち米を限定使用。親子三代にわたり「もち田」と呼ばれるもち米専用の田んぼで栽培した、玉井さん自慢のもち米です。

簡単な食べ方として、パックから出した切り餅を容器に入れ、餅が隠れるくらいに湯か水を張り、電子レンジで1~2分くらい温めればつきたてのような餅ができあがります。

市内ではタカヤナギ全店で販売しています。新米使用の切り餅は12月20日ごろからの販売です。大仙自慢のもち米を使った大人気のお餅をぜひご賞味ください。

あて先

〒014-8601 (住所不要) だいせん日和プレゼント係
ファックス / 0187-63-1119
Eメール / kouhou@city.daisen.akita.jp
※Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。

広告ページ